



単位互換講座募集ガイド

専門をより深く、教養・知識の向上に！

他の大学の授業が学べます

ユニティ 大学共同利用施設
【神戸研究学園都市大学交流推進協議会】

Contents

単位互換講座を受講するにあたって……………	1
出願手続き……………	2
出願票記入例……………	3
[特別科目]	
履修上の注意……………	4
試験について……………	4
特別科目一覧表……………	5
科目概要（シラバス）……………	6
[学内提供科目]	
学内提供科目一覧表……………	26
科目概要（シラバス）……………	27
UNITY（大学共同利用施設）のご案内……………	57

[科目概要（シラバス）]

科	目	名				
大	学	名				
担	当	教	員	氏	名	
開	講	期	間			
開	講	曜	日	・	時	間
対	象	学	年			
募	集	人	員			
科	目	内	容			
評	価	方	法			
教	科	書				
参	考	図	書			
履	修	に	あ	た	っ	て

単位互換講座を受講するにあたって

単位互換講座は、神戸研究学園都市大学交流推進協議会に加盟している神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学が「単位互換に関する協定」を締結し、他大学の提供する科目も受講できるとともに、取得した単位を自分の大学の正規単位として認定できるようにしたものです。

単位互換講座の受講・認定については、大学により異なりますので、事前に自分の大学の教務関係の窓口で確認した上で手続きを行ってください。

単位互換講座には、「特別科目」と「学内提供科目」の2種類があり履修や試験等の規則が異なりますので注意してください。

単位互換講座は、専門に関する分野や異なった分野の授業を受講することで、自分の専門分野に厚みと幅を加えることができます。さらに、他大学の先生の授業を受けたり、他大学の学生と机を並べて勉強することにより、新たな刺激を受けられるなど学生生活を充実したものにすることができます。ぜひ積極的にチャレンジしてください。

また、特別科目の一部は、神戸市内にある公・私立24高等学校の高校生に、進路選択及び教養・知識の向上を目的に、「ユニティ高大連携講座」として開講し、高い評価を得ています。本年度は特別科目20科目のうち14科目をユニティ高大連携講座として提供します。

特別科目

UNITYの教室で開講される科目です。

開講期間（試験日を含む）は、所属大学のものとは異なりますので、注意してください。

- ・前期 4/11(月)～8/5(金)
- ・後期 9/26(月)～12/21(水)、1/5(木)～2/6(月)

上記の日程で15回の講義と試験を実施します。

*休講等により補講を実施する場合には、担当教員が指示します。

学内提供科目

科目開設大学のキャンパスで履修する科目です。

他大学のキャンパスに行くことによって、新しい発見や幅広い友人関係ができます。ぜひ他大学のキャンパスも体験してみてください。開講期間や時間、休講基準、試験の実施方法等は科目開設大学の規定に基づきます。受講生は、必要な規則の説明書や学年暦などを科目開設大学より受け取るか、またはユニティのウェブサイト (<https://www.unity-kobe.jp/gokan-gakunai>) や各大学のウェブサイトを開覧して、その内容をよく確認してください。特に休日に授業が行われる場合などがありますので、ご注意ください。

※開講期間、曜日及び時間は所属大学を通じて3月末に配布する「単位互換講座時間割」をご覧ください。

出願手続き

1. 申込者の資格

- ①神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学、兵庫県立大学明石看護キャンパスの学生で、自分の大学の許可があれば誰でも受講資格があります。
ただし、科目によって既履修科目や対象学年等の条件がありますので、「科目概要(シラバス)」で確認をしてください。
- ②大学によって、単位認定が可能な科目や単位数等が異なります。詳細については自分の大学の教務関係窓口やガイダンス等で確認をしてください。

2. 出願の方法

- ①自分の大学の教務関係窓口で、前期科目・後期科目とも4月初め自分の大学で定められた期間内に自分の大学の指示に従って手続きをしてください。なお、後期科目で定員に余裕のあるものについては、7月頃に再募集をします。再募集をする科目については自分の大学で確認をしてください。
- ②必要な提出書類は「ユニティ単位互換講座科目履修出願票」です。記入例を参考にして、1科目につき1枚記入をしてください。2科目以上出願する方は、用紙をコピーして使用してください。
- ③学生の受講料は無料です。

3. 履修許可及び履修手続きについて

- ①科目開設大学が「ユニティ単位互換講座科目履修出願票」に基づいて選考を行います。
- ②選考の結果は、4月22日(金)に自分の大学から通知されますので、確認をしてください。また、後期科目の再募集選考結果は、9月30日(金)に通知されます。
- ③前期については、履修許可の確定が前期授業開始後になりますので注意してください。
- ④科目によっては科目開設大学での手続きが必要な場合があります。その場合は、科目開設大学の指示に従って手続きをしてください。

4. 学籍等の取扱い

- ①履修を許可された学生は、科目開設大学の「特別聴講学生」または「科目等履修生」となります。
- ②講義を受ける際の注意や試験の実施方法等は、科目開設大学の指示に従ってください。
- ③単位の認定や成績は、自分の大学を通じて連絡されます。

出願票記入例

ユニティ単位互換講座 科目履修出願票

_____年 _____月 _____日提出

学生情報	所 属	大学・高専	学部・専攻科	学科・専攻	学年	学籍番号
		ユニティ大学	UNITY学科	UNITY学科	2	B 67543
	ふりがな	ガクエン トシオ				性別
氏 名	学園 とし男				Ⓐ・女	
申込科目	科目開設 大学・高専	流通科学 大学			科目 区分	() 特別科目 () 学内提供科目
	科 目 名	都市・地域計画				
	授 業 時 間	木 曜 日 3 時 限	担当教員			
選考結果	※ 可 ・ 否		備考			

※↑記入しないこと

志 望 理 由

志望理由として当てはまる項目すべてに☑を入れてください。

- 単位互換講座に興味があったから
 他大学の授業に参加してみたかったから
 興味のある科目だったから
 就職希望分野に役立つ科目だったから
 その他 ()

【自由記載】

我々は何も意識することなく都市・地域で生活・活動を行っていますが、そこにルールとして「都市計画法」が存在したことに興味を持ちました。都市・地域が抱えている問題や自分個人として都市・地域について抱く問題点をこの講義を受けることで少しずつ理解を深めて自分なりに次世代の都市・地域の計画及び、問題点の解決を深めていきたいです。

【注意】 1科目1枚で記入してください。2科目以上履修する場合はコピーしてください。

特別科目

履修上の注意

1. 休講について

14時現在、下記の気象警報等の発令または運休区間がある場合には休講となります。

①神戸市に暴風警報または大雪警報が発令されている場合

②神戸市に土砂災害警戒情報が発表されている場合

③神戸市に特別警報が発令されている場合

④神戸市営地下鉄西神・山手線に運休区間がある場合

⑤大阪-姫路間で次のいずれかに該当する場合

(1) JR西日本（大阪-神戸間）、阪急電鉄、阪神電鉄のすべてに運休区間がある場合

(2) JR西日本（神戸-姫路間）、山陽電鉄のすべてに運休区間がある場合

(ただし、天候事情等により通学が不可能もしくは危険なために欠席した場合は、欠席届を学生から講義担当教員に提出)

※各大学及びUNITYの掲示板、ホームページで受講生に通知します。(https://www.unity-kobe.jp)

2. 受講希望者が極端に少ない場合は開講しないことがあります。

3. 使用教科書等については、シラバス及び講義内での教員の指示に従ってください。

試験について

1. 試験日及び試験時間については、講義担当教員が講義内で説明します。

2. 受験資格や遅刻の取扱等については、科目開設大学の規則に基づくこととし、講義担当教員が講義内で説明します。

3. 追試験は、原則として実施しませんので必ず指定された日時に受験してください。

4. レポートの提出については、「レポート提出票」を付けて締切期日までにUNITY事務室に提出してください。「レポート提出票」はUNITY事務室にあります。

特別科目

(注1) ※印は高大連携講座です。

(注2) 教室は、UNITY の案内板を見てください。

曜日	開講時期	科目名	単位数	担当大学	担当教員	時間	掲載頁	
月	前期	保険論 ※	2	県大	田中隆 教授	16:30～18:00	13	
		手話言語学	2	高専	今里典子 教授	16:40～18:10	21	
		比較地域研究 1 ※	2	外大	並河葉子 教授	17:50～19:20	8	
火		都市空間グラフィックス論 ※	2	芸工大	高台泳 准教授	16:30～18:00	6	
		政府会計論 ※	2	県大	都築洋一郎 准教授	16:30～18:00	14	
		臨床心理学入門 1 ※	2	外大	金沢晃 准教授	17:50～19:20	9	
		地域学 ※	2	高専	八百俊介 教授	18:20～19:50	22	
水		アジア史	2	流科大	辻美代 教授	18:20～19:50	17	
		金融政策論	2	流科大	羽森直子 教授	18:20～19:50	18	
	女性と女性の健康 ※	1	看護大	高田昌代 教授 他2名	18:20～19:50	25		
木		現代思想文化論	2	高専	未定	18:20～19:50	23	
月	後期	リスクマネジメント論 ※	2	県大	田中隆 教授	16:30～18:00	15	
		比較地域研究 2 ※	2	外大	並河葉子 教授	17:50～19:20	10	
		応用倫理学 ※	2	高専	未定	18:20～19:50	24	
火		民族衣装論 ※	2	芸工大	新田恭子 講師	16:30～18:00	7	
		臨床心理学入門 2 ※	2	外大	金沢晃 准教授	17:50～19:20	11	
		社会調査論 ※	2	県大	川向肇 准教授	18:20～19:50	16	
		証券論 ※	2	流科大	福田司文 教授	18:20～19:50	19	
水			医療通訳・コーディネーター入門	2	外大	畑上雅朗 特任准教授 他12名	18:20～19:50	12
金			キャリア基礎論 ※	2	流科大	中山一郎 教授	18:20～19:50	20

2022年1月末現在

注意事項

対面での授業を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況等によっては急遽、学期の途中も含め、授業の実施方法が変更になる場合があります。また著しく状況が悪化した場合は、非開講もあり得ます。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	高台泳 准教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 4/26・5/10 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	都市空間グラフィックスの多様な種類、形式、役割について、画像・映像資料を用いながら概説する。文字、ピクトグラム、ロゴ・シンボル、グラフィックスなど、主にビジュアルデザイン分野を中心に都市空間グラフィックスの基本要素について解説する。都市空間グラフィックスの中でも特に都市空間のあり方に大きな関わりをもつ屋外広告について、自ら街中で実例を収集・分析し、その多様な形式と社会への影響・役割などについて考察する。	
	各回内容	
	1	都市空間グラフィックスの概要
	2	文字 (1)
	3	文字 (2)
	4	文字 (3)
	5	ピクトグラム (1)
	6	ピクトグラム (2)
	7	ピクトグラム (3)
	8	ロゴ・シンボル (1)
	9	ロゴ・シンボル (2)
	10	壁画・グラフィック (1)
	11	壁画・グラフィック (2)
	12	屋外広告 (1)
	13	屋外広告 (2)
	14	屋外広告 (3)
15	まとめ	

評 価 方 法：授業中に提示するレポート課題について、その内容と提出回数で総合的に評価する。
レポート課題の未提出の回数が3分の1以上の場合はE評価とする。

教 科 書：適宜資料を配布する。

参 考 図 書：佐藤優・中牟田麻弥『屋外広告のテキスト』日本サイン協会
(www.sign-jp.org/98/book2/index.html)

履 修 に あ た っ て：[各自準備物]
カメラ機能とインターネット検索機能がついている携帯端末（タブレット、スマートフォンなど。持っていれれば良い）。筆記用具（鉛筆・消しゴム）。
レポートは授業内容と関連づけてテーマを提示する。作成は授業中に行い、授業終了時に提出する。
授業でとり上げた都市空間グラフィックスについて、街中で自ら実例を探して発表することもある。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	新田 恭子 講師
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/20・1/17 ~ 1/24)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	<p>民族衣装は、人類が長い時間をかけて蓄積してきた、衣文化の知恵の結晶であるとも言える。民族衣装を学ぶことによって、人類の「おしゃれ」の歴史に対する認識を新たに、これからの「おしゃれ」を考える。</p> <p>人間は、「おしゃれ」することによって、自己を表現しようとする。民族衣装を着ることは、単純にとらえればある民族への帰属を表しているが、歴史や文化に注目して視野を広げて見ると、衣装の形や色だけでなく素材や技法などからも多様な情報を読み取ることができる。アジアを中心とした地域の様々な民族衣装を、多数の視覚資料や実物資料に接して、それぞれの魅力とその背後にある歴史や文化を理解する。</p> <p>また、テキスタイルに対する視野を広げるために、民族衣装の素材と染め、織り、刺繍などの技法についても様々な事例を通して知識を深める。実習授業時に参考となり得る作例に、数多く触れる機会も提供する。演習を通して、民族衣装への理解を深める機会もつくる。</p>		
	各回内容		
	1	趣旨と概要の説明 - 「おしゃれ」の源をさぐる	
	2	「おしゃれ」の源をさぐる - 身体変工のいろいろ	
	3	身体をはった「おしゃれ」- タトゥーが持つ意味	
	4	巻き付ける「おしゃれ」- ひもから四角い布まで	
	5	絞（しぼり）と緋（かすり）- グジャラート州の事例 - インド	
	6	中国少数民族の服飾 2 - タイ族 - - - - - 中国 1	
	7	日本服飾史 - 「きもの」の成り立ちを中心に - - - - - 日本 1	
	8	「きもの」の意匠と役割 - 歌舞伎衣装を例に - - - - - 日本 2	
	9	東アジアから見た「きもの」（演習） - - - - - 日本 3	
	10	「きもの」の素材と技法 - 友禅染と西陣織 - - - - - 日本 4	
	11	「チャイナドレス」への考察 - - - - - 中国 2	
	12	中国少数民族の服飾 1 - ミャオ族 - - - - - 中国 3	
	13	民族衣装に染められた色「赤」 - - - - - ブータン	
	14	民族衣装と藍染め	
15	授業全体のまとめ		

評 価 方 法：授業中に実施する小レポートを 40% と試験期間に行う定期試験 60% で評価。
1/3 以上の欠席は授業放棄とみなし、原則として単位付与はしない。

教 科 書：資料を配布する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：授業開始時刻より 30 分以降の遅刻は欠席とみなします。遅刻 3 回で欠席 1 回と数えます。
[各自準備物] ファイル（配布資料をとじるため）

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	並河 葉子 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/1)	開 講 曜 日・ 時 間	月曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	16 世紀以後の近代世界については、ヨーロッパの膨張を中心に歴史がかたられることが多い。 この時代、ヨーロッパはアジア、アフリカなど外部世界とのかかわりを深め、経済的にも社会的にも大きな変化を経験した。 本講義では、大航海時代以後にヨーロッパが外部世界との接触を深めていった背景とそのプロセスに注目し、それがヨーロッパ内部にもたらした影響と世界史にもたらしたインパクトについて考える。	
	各回内容	
	1	世界史（グローバル・ヒストリー）のころみ
	2	13 世紀世界システム
	3	近代世界システム論 1
	4	近代世界システム論 2
	5	近代の幕開け イスラムとヨーロッパ
	6	大航海時代 スペイン
	7	大航海時代 ポルトガル
	8	17 世紀危機
	9	オランダの時代
	10	17 世紀危機の克服 イギリスの挑戦
	11	環大西洋世界の成立
	12	近代社会の成立
	13	消費社会
	14	新しい価値の創造
15	まとめ	

評 価 方 法：レポートまたは試験により評価する。

教 科 書：特に指定しない。

参 考 図 書：フィリップ・レヴァイン『イギリス帝国史－ジェンダー・移民・植民地へのまなざしから－』（昭和堂、2021 年）

川北総『世界システム論講義』（ちくま学芸文庫）

履 修 に あ た っ て：各回の授業は相互に関連しているので毎回出席のこと。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	金沢 晃 准教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 7/26)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、精神疾患を中心に取り上げ、理解を深めます。		
	各回内容		
	1	ガイダンス – 臨床心理学とは –	
	2	統合失調症 (1) – 概念の変遷と疫学 –	
	3	統合失調症 (2) – 症状と類型、治療 –	
	4	統合失調症 (3) – 事例を通して学ぶ –	
	5	依存症 (1) – 物質依存と行動依存 –	
	6	依存症 (2) – 世代間伝達の問題 –	
	7	依存症 (3) – 電子機器依存とその仕組み –	
	8	試験 1 と解説	
	9	摂食障害 (1) – 摂食障害と症状 –	
	10	摂食障害 (2) – 摂食障害とパーソナリティ –	
	11	気分障害 (1) – うつ病と症状 –	
	12	気分障害 (2) – うつ病と治療 –	
	13	思春期のこころの発達 (1) – 自立と仲間関係の構築 –	
14	思春期のこころの発達 (2) – 脳の発達と変化 –		
15	試験 2 と解説		

評 価 方 法：講義中に行う試験で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語は差し控えること。講義中のスマホの使用は認められません。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	並河 葉子 教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/16 ~ 1/30)	開 講 曜 日・ 時 間	月曜日 17:50 ~ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	16 世紀以後の近代世界については、ヨーロッパの膨張を中心に歴史がかたられることが多い。 この時代、ヨーロッパはアジア、アフリカなど外部世界とのかかわりを深め、経済的にも社会的にも大きな変化を経験した。この時代はアジア世界でも大きな変化の起こった時代である。 本講義では、ヨーロッパが 16 世紀以後に経験した生活革命について考えると同時に、アジア世界がどのように変化したのか、ヨーロッパ世界での変容と比較しながら、両者の変化の関係を読み解く。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	アジア内交易圏とヨーロッパの接触
	3	近代世界システム論とアジア 1
	4	近代世界システム論とアジア 2
	5	ヨーロッパの商業革命、生活革命
	6	環大西洋世界における人の移動
	7	日本における生活革命
	8	「鎖国」再考 1
	9	「鎖国」再考 2
	10	「近代」的価値の創造
	11	社会改良運動とミッション活動
	12	現代ヨーロッパと帝国の遺産
	13	移民問題 1
	14	移民問題 2
15	まとめ	

評 価 方 法：試験またはレポートにより評価する。

教 科 書：特に指定しない。

参 考 図 書：フィリップ・レヴァイン『イギリス帝国史－ジェンダー・移民・植民地へのまなざしから－』（昭和堂、2021 年）

川北総『世界システム論講義』（ちくま学芸文庫）

履 修 に あ た っ て：各回の授業は相互に関連しているので毎回出席のこと。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	金沢 晃 准教授
開 講 期 間	後期（9/27～12/13・1/10～1/31）	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 17:50～19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解（アセスメント）し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、こころの発達を考える上で有用なアタッチメントについて学びます。また、前期と同様に、精神疾患について学び、また、映画を通してこころの発達について考えてみたいと思います。		
	各回内容		
	1	ガイダンス－こどもの発達概論－	
	2	アタッチメントと愛情剥奪	
	3	アタッチメントパターン	
	4	問題のあるアタッチメント	
	5	感情の発達とアタッチメント	
	6	アタッチメント障害と少年犯罪	
	7	試験1と解説	
	8	青年期の発達とこころの病（1）境界性パーソナリティ障害	
	9	青年期の発達とこころの病（2）青年期の仲間関係	
	10	青年期の発達とこころの病（3）自立とアイデンティの確立	
	11	青年期の発達とこころの病（4）反社会性について	
	12	認知症（1）－認知機能と症状－	
	13	認知症（2）－記憶について－	
	14	認知症（3）－支援について－	
15	試験2と解説		

評 価 方 法：講義中の試験で成績を評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語など、講義の妨げ、他の受講生の迷惑になるような行為は差し控えること。

講義中のスマホの使用は認められません。

医療通訳・コーディネーター入門 *Medical Interpreter and Coordinator* 2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	畑上 雅朗 特任准教授 他
開 講 期 間	後期 (9/28 ~ 12/14・1/11 ~ 2/1)	開 講 曜 日・ 時 間	水曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	未定

科 目 内 容	<p>日本在住の外国人の数が増加し、異なる言語や文化的背景をもつ人々が日本で医療サービスを受ける機会も増えています。その際、言語や文化の違いのために、さまざまな問題に直面します。こうした場面で活躍するのが医療通訳であり、医療通訳コーディネーターです。厚生労働省もその育成に非常に力を注いでいます。</p> <p>この講座は神戸市外国語大学と神戸市看護大学が協力して実施するもので、語学を学ぶ人、看護学・医学を学ぶ人の接点となるユニークな授業です。将来医療通訳として活躍してみたい人、コーディネーターを志したい人、この分野に興味を持つすべての人のための入門講座で、今年度が 10 回目です。</p> <p>これまで上記 2 大学だけでなく、兵庫県立大学、神戸市立工業高等専門学校、流通科学大学、神戸芸術工科大学、また留学生・外国籍の人や大学院生の皆さんも熱心に受講して、毎回それぞれの視点からの活発な討議がおこなわれ、大きな成果をあげました。医療通訳の基本、医療制度や現状、医療英語などの講義に加えて、ロールプレイによる医療通訳の演習も行います。言語は英語を主体にしますが、ロシア語、中国語、スペイン語にも触れる機会があります(予備知識のない人も歓迎します)。</p>	
	各回内容	
	1	(09/28) 通訳の基本：畑上 雅朗 (神戸市外国語大学)
	2	(10/05) 医療通訳の現状：遊川 章宏 (医療通訳研究会 (MEDINT))
	3	(10/12) 医療制度：益 加代子 (大阪府立大学)
	4	(10/19) 外国人への感染症対策と保健所保健師：山下 正 (神戸市看護大学)
	5	(10/26) 母子保健 (妊娠・出産・育児)：嶋澤 恭子 (神戸市看護大学)
	6	(11/02) チーム医療の中の通訳者：新垣 智子 (りんくう総合医療センター)
	7	(11/09) 精神保健：植本 雅治 (神戸市看護大学)
	8	(11/16) 神戸における医療通訳：李 裕美 (多言語センター FACIL)
	9	(11/30) 医療英語：川越 栄子 (滋慶医療科学大学)
	10	(12/07) 演習 1 (英語)：松岡 綾子 (英語医療通訳者)
	11	(12/14) 演習 2 (中国語)：入江 沢竜 (中国語通訳者)
	12	(01/11) 演習 3 (ロシア語)：エレナ・バイビコワ (神戸市外国語大学)
	13	(01/18) 演習 4 (スペイン語)：松村 太 (バイエル薬品・医師)
	14	レポート準備
15	(02/01) レポート提出 (締切厳守)	

評 価 方 法：平常点 (70%) およびレポート試験 (30%) で評価する。

教 科 書：指定しない。毎回プリントを配布する。

参 考 図 書：中村安秀・南谷かおり 編 (2013) 『医療通訳士という仕事』 大阪大学出版会
 村松紀子・連利博・阿部裕 編著 (2015) 『実践医療通訳』 松柏社
 その他、講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：初回の授業では本講座全体の概要も説明するので、必ず出席すること。
 演習では各言語に特有の医療通訳の現状を学びながら、ロールプレイなども行う。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	田中隆 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/1)	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	<p>(科目内容) 本講義の目的は、多様化・巨大化するリスクへの主要なリスク処理手段である保険について、保険理論を踏まえ、保険制度等との関連から、体系的に解明することである。さらに保険理論と保険制度を踏まえた保険について知識を習得するとともに、損保における再保険や主要な保険、保険制度の現状、生命保険、第三分野の保険等についての解説から、現在の保険に関する知識を習得することである。</p> <p>本講義の到達目標は、リスクや保険について、保険理論・保険制度等を踏まえて、体系的・総合的な理解を可能とすることである。さらに、損害保険や生命保険等に関する解説から、現在までの保険に関する知識について、適切な水準で獲得することである。</p> <p>(講義内容) 本講義では、リスクと保険全般に関する理論について講義を行い、保険制度や保険会社の企業形態等について解説を行う。また損害保険における再保険、自動車保険、生命保険と生命保険商品、第三分野の保険等について解説を行う。また下記のように、外部講師による損害保険、生命保険・生活保障に関する講義を行う場合もある。</p> <p>なお、講義形式で授業を行う。不定期に出席をとる予定である。</p>		
	各回内容		
	1	ガイダンス (講義計画、成績評価基準等の説明)、リスクと社会	
	2	リスクについて	
	3	保険の歴史と特徴	
	4	保険技術と保険経営：保険の技術的仕組み、保険リスク、保険経営において等	
	5	保険サービスとその特質に関して：保険販売における特性、情報の非対称性等に関して	
	6	保険の分類について	
	7	保険契約について：損害保険、生命保険、消費者に関する観点から	
	8	損害保険における再保険について	
	9	中間試験、損害保険における主要な保険 (自動車保険を中心に)	
	10	外部講師による損害保険、生命保険・生活保障に関する講義 (予定)	
	11	現在における保険制度：現在までの動向から近年の動向を加えて	
	12	保険会社における金融：生命保険会社を中心に	
	13	保険会社の企業形態等と保険経営：相互会社、近年の動向、ロイズ等に関して	
	14	生命保険と主要な生命保険商品：従来のな生保商品から近年の動向等を加えて	
	15	第三分野等の保険：医療保険、傷害保険等に関して	
16	評価 (到達度の確認)		

評 価 方 法：平常点 (含受講態度、積極的な質問等) 10%、中間試験 40%、期末試験 50%を基準とし、総合的に評価する。

教 科 書：テキストを使う場合は、講義開始前に掲示する。テキストを使わない場合は、授業毎にプリントを配付する。

参 考 図 書：授業において、その文献・資料が学術情報館にあるのかも含めて、随時指示する。

履 修 に あ た っ て：授業では、講義を聴きつつ、配付資料を見ながらノートを採る作業等がある。

毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

なお、本講義の担当教員の研究領域は保険論・リスクマネジメント論であり、本講義は、担当教員の専門分野である保険論の基礎理論やその関連領域を、学部専門基礎レベルの科目として開講するものである。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	都築 洋一郎 准教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 8/2)	開 講 曜 日・ 時 間	火曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	政府会計の仕組みとそこにおける問題点を理解するとともに、現在進行中である政府会計制度改革の方向性を検討する。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	本講義の対象領域
	3	政府の役割と活動
	4	国・地方自治体の財政
	5	国・地方自治体の予算に関する基礎概念
	6	国・地方自治体の会計に関する基礎概念
	7	地方自治体の決算制度① - 決算書を中心に -
	8	地方自治体の決算制度② - 附属書類を中心に -
	9	公会計改革の背景と概要
	10	従来からある予算・会計制度の問題点
	11	会計理論の構築方法
	12	政府会計制度改革における理論構築
	13	会計年度間の衡平性
	14	政府会計制度改革における財務報告モデル - 地方自治体を中心に -
15	SEA 報告 (業績評価)	
16	評価 (達成度の確認)	

※受講生の理解度や人数により、授業内容や授業スタイルを変更する場合があります。
その場合、受講生のみなさんにご相談させていただきます。

評 価 方 法：授業への参加状況 (30%) および期末試験 (70%) で評価する。

教 科 書：特に使用しません。講義資料を配布します。

参 考 図 書：亀井孝文『公会計制度の改革第2版』中央経済社、2011 など。

履 修 に あ た っ て：「簿記論」と「会計学総論」といった会計学一般の基礎知識を有していることが望ましい。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	田中隆 教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/16 ~ 2/6)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	(科目内容) 本講義の目的は、リスクとリスク・マネジメント (RM) における知識を習得すると共に、RM の理論に関して体系的に解明することである。また、組織における失敗等への理解に加え、RM と企業経営の関連、リスク・ファイナンスへの理解等を中心に、RM に関する包括的な知識の習得を目的とする。 本講義の到達目標は、リスクや RM の理論等に関して体系的・総合的な理解を可能とすることである。さらに、リスクや RM における基礎的な知識をはじめ、上述したリスク・ファイナンス等を含めた RM に関する基礎的・包括的な知識について、適切な水準で獲得することである。 (講義内容) 本講義では、リスクの概念やリスク・マネジメントにおける歴史・変遷等を説明し、RM の理論について体系的に解説する。また組織における失敗の事例等と共に、RM と企業経営の関係、リスク・ファイナンスの現状等も紹介し、RM における理論と事例に関する側面から講義を行う。 なお、講義形式で授業を行う。不定期に出席をとる予定である。		
	各回内容		
	1	ガイダンス：年間の講義計画、成績評価基準等の説明、リスクと我々の生活、企業	
	2	リスクとリスク・マネジメント (RM)：リスクについて、リスクの分類等について	
	3	リスク・マネジメントにおける歴史・変遷等：海上におけるリスク対策と海上保険の発展	
	4	リスク・マネジメントにおける理論について①：RM の定義、RM の仕組み、プロセス等	
	5	リスク・マネジメントにおける理論について②：RM のリスク処理技術、RM の組織等	
	6	リスク・マネジメントと保険①：保険の特徴、保険技術と保険経営等	
	7	リスク・マネジメントにおける保険②：損害保険に関する解説、保険経営におけるリスク等	
	8	中間試験	
	9	リスクと個人、家計について：消費者と社会保障等を取りまく環境と生活設計の視点から	
	10	リスクと組織、組織における失敗について：著名な議論、組織文化等からの解説	
	11	組織における失敗とその事例等：代表的・近年の事例からの解説を加えて	
	12	リスクマネジメントと企業経営：内部統制と RM、現代的な RM の方向性等に関して	
	13	企業リスクマネジメントとリスク・ファイナンス：企業経営とリスク・ファイナンスの種類等に関する紹介・解説	
	14	異常災害とリスク・マネジメント：異常災害におけるリスク・ファイナンスと実践企業の事例等の解説から	
15	講義全体の復習		
16	評価 (到達度の確認)		

評 価 方 法：平常点 (含受講態度、積極的な質問等) 10%、中間試験 40%、期末試験 50%を基準とし、総合的に評価する。

教 科 書：テキストを使う場合は、講義開始前に掲示する。テキストを使わない場合は、授業毎にプリントを配付する。

参 考 図 書：授業において、その文献・資料が学術情報館にあるのかも含めて、随時指示する。

履 修 に あ た っ て：授業では、講義を聴きつつ、配付資料を見ながらノートを採る作業等がある。

毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

備 考：本講義の担当教員の研究領域は保険論・リスクマネジメント論であり、本講義は、担当教員の専門分野であるリスクマネジメント論の基礎理論やその関連領域を、学部専門基礎レベルの科目として開講するものである。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	川向 肇 准教授
開 講 期 間	後期 (10/4 ~ 12/20・1/10 ~ 1/24)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	社会調査の基礎から、分析し、統計解析する部分までの一連のプロセスを実施し、社会に関する調査・分析能力を身につける。		
	各回内容		
	1	社会調査とは何か	
	2	調査仮説の構築法	
	3	概念整理のための方法論 量的調査・質的調査	
	4	調査と研究の進め方	
	5	調査の企画・対象の設定	
	6	ワーディング	
	7	調査表の構成法	
	8	サンプリング	
	9	データコーディング方法	
	10	分布と統計量	
	11	検定 (超入門)	
	12	クロス表分析	
	13	回帰分析	
14	調査データから報告書へ		
15	まとめ		

評 価 方 法：平常点 (40%) および期末レポート (60% 統計解析も含む) で評価する。

教 科 書：盛山和夫著『社会調査法入門』有斐閣ブックス

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。

Microsoft Excel がインストールされている PC を 8 回目以降必ず持参できること。Microsoft Excel の操作に不自由がないこと。Microsoft Excel における関数 (Sum 関数、Average 関数等の統計関数) の初歩の知識は必須である。8 回目以降に、無償の統計パッケージソフトウェアをインストールして利用する予定であるので、Windows10 以降ないし Macbook 等ソフトウェアを自由にインストールできる PC を必ず用意すること。Windows (8 以降、10 が推奨) ないし MacBook 等を事前に用意すること。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	辻 美代 教授
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 8/3)	開 講 曜 日 ・ 時 間	水曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	ヒト・モノの交流を通じてアジアの歴史を学ぶ。中国・香港・台湾の歴史と現状を複眼的な視点で捉えられるようになることを目標とする。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	海のシルクロードと大航海時代	
	3	鉄砲と花火	
	4	胡椒・香辛料	
	5	インド木綿	
	6	イギリス産業革命	
	7	アヘン戦争	
	8	中間テスト	
	9	清朝の近代化	
	10	孫文と辛亥革命	
	11	中華民国政府の誕生	
	12	日中 15 年戦争	
	13	国共内戦	
14	中華人民共和国の誕生と国民党の台湾遷都		
15	期末試験		

※受講生の希望やその他状況により変更します。

評 価 方 法：出席およびレポート（20%）、中間試験（30%）および期末試験（50%）で評価する。
 ※授業形態により変更します。

教 科 書：指定しない

参 考 図 書：祝田秀全『銀の世界史』ちくま新書、2016 年、ISBN:978-4480069122
 杉山伸也『グローバル経済史入門』岩波新書、2016 年、ISBN:978-4004315124
 岡本隆史『世界史序説』ちくま新書、2018 年、ISBN:978-4480071552

履 修 に あ た っ て：毎回授業に出席し、遅刻・欠席しないこと。授業中は私語を慎み、積極的に取り組むこと。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	羽森直子 教授
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 8/3)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	中央銀行の役割と、日本銀行を中心とする非伝統的金融政策と呼ばれる金融政策の運営やその効果について学ぶ。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	中央銀行の役割と金融政策の枠組み
	3	日本銀行 (1)
	4	日本銀行 (2)
	5	日本銀行の金融政策の特徴 (1)
	6	日本銀行の金融政策の特徴 (2)
	7	日本銀行の金融政策運営 (1)
	8	日本銀行の金融政策運営 (2)
	9	日本銀行の金融政策運営 (3)
	10	日本銀行の金融政策運営 (4)
	11	日本銀行の金融政策運営 (5)
	12	日本銀行の金融政策運営 (6)
	13	主要国の非伝統的金融政策
	14	欧州中央銀行
15	欧州中央銀行の金融政策運営	
16	米国の中央銀行制度	

評 価 方 法：ほぼ毎回実施する小テストにより評価を行う予定であるが、別途中間レポートの提出を求める可能性がある。

教 科 書：使用しない。

参 考 図 書：ここでは1冊のみ紹介しておく。

宮尾龍蔵『非伝統的金融政策－政策当事者としての視点』（有斐閣）

履 修 に あ た っ て：毎回の講義に出席してください。特に初回は、講義概要について説明するので、必ず出席してください。

皆さんの所属大学と授業開始日が異なるかもしれませんので、注意してください。

授業の最初に小テストを実施しますので、遅刻しないようにしてください。

講義中は私語を慎み、他の受講生の迷惑にならないようにしてください。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	福田 司文 教授
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/20・1/10 ~ 1/24)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	40 名程度

科 目 内 容	現代の証券市場を構成する株式と債券の理解が目標です。証券を取引の仕組みと証券投資あるいは証券価格変動の問題に分けて授業する。投資においては株式、債券の評価、分析が重要であるがこの点について基礎的な理解が得られるよう基礎概念を中心に講義する。金融事象であるため、数値での分析、計算をすることが頻出するが、練習問題で慣れていくように進めてゆく。		
	各回内容		
	1	導入：証券の役割	
	2	経済活動と金融システム	
	3	株式の種類、株式売買	
	4	株式 上場制度、特徴的な取引 (1)	
	5	株式 上場制度、特徴的な取引 (2)	
	6	株式の種類と様々な発行方法	
	7	財務諸表と投資尺度 (1) 財務諸表の理解	
	8	財務諸表と投資尺度 (2) 投資尺度の理解	
	9	株式のリスク	
	10	株価の予測 (1) 伝統的な価格変動の考え方	
	11	株価の予測 (1) ファイナンス論による考え方	
	12	債券投資	
	13	投資信託 (1)	
	14	投資信託 (2)	
15	まとめ		

※以上は予定の内容である。受講生の理解力によっては内容を変更する可能性もあることも了承してほしい。
一つのトピックスを複数回に分けて授業するので、全部カバーできないかもしれない。

評 価 方 法： 期末試験 70%、授業中の復習クイズ、出席で 30%。

教 科 書： 配付資料によって授業を進める。

参 考 図 書： 榊原・城下・姜・福田・岡村『入門証券論』有斐閣
川北『テキスト株式・債券投資』中央経済社

履 修 に あ た っ て： トピックごとに学習内容を簡単なクイズで復習するように努める。

要求されるクイズをしっかりと理解すれば、期末試験には困りません。そのためにも、手を抜かず出席してください。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	中山 一郎 教授
開 講 期 間	後期 (9/30 ~ 12/16・1/6 ~ 1/20)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	「コミュニケーション」と「キャリア形成」という視点から大学生活や就職活動で活かせる知恵や知識やスキルを身につける。		
	各回内容		
	1	プロローグ～キャリア基礎論とは～	
	2	大学での学びとキャリア形成	
	3	「友愛的コミュニケーション」から「職業的コミュニケーション」へ	
	4	7分間でお互いの世界観を共有できるコミュニケーション術	
	5	「聴く」という行為について	
	6	Yes and という「話法」と「発想法」	
	7	職業ってナニ!?	
	8	身近な暮らしから考える職の気づき	
	9	会社ってナニ!?	
	10	仕事ってナニ!?	
	11	就職とは生き方の選択でもある	
	12	その幸運は偶然ではありません～ブランド・ハプスタンス～	
	13	何を伝えるか、いかに伝えるか～ロジカルシンキング～	
14	新しい私と出逢う、社会と出逢う～クリティカルシンキング～		
15	エピローグ～改めて、キャリア基礎論とは～		

評 価 方 法：リアクションペーパー (75%)、課題レポート (10%)、平常点 (15%)。

教 科 書：中山一郎著『エピソードの就活 - キャリアカウンセラーが教える7つのステップ -』(晃洋書房、2017年)

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の講義に出席すること。特に第1回目は授業概要や成績評価について説明するので必ず出席すること。

講義は遅刻しないように入室し、私語や居眠りなど他の受講生への迷惑行為は慎むこと。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	今里典子 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/1)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:40 ~ 18:10
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	日本固有の言語である「日本手話 (JSL)」とはいかなることばなのかを言語学の視点から学ぶ。少数言語使用者としてのろう者への理解を深め、医療・福祉の現場で手話を使った基本的なコミュニケーションが可能になることを目指す。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	聞こえのメカニズム	
	3	少数言語サイナー	
	4	手話言語の習得	
	5	ジェスチャーと手話	
	6	世界の手話	
	7	手話の構造 1 音韻	
	8	手話の構造 2 形態	
	9	手話の構造 3 文法	
	10	手話表現のまとめ	
	11	情報保障 1 社会・技術	
	12	情報保障 2 医療・福祉	
	13	情報保障 3 芸術	
14	手話ゲーム		
15	まとめ		

評 価 方 法：レポート (50%) および演習 (50%) で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席して手話の演習を行い、基本的な手話表現を必ず習得すること。参加にあたって、積極的に発言することと、倫理上の問題に留意することが求められる。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	八百 俊介 教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 8/2)	開 講 曜 日・ 時 間	火曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	40 名程度

科 目 内 容	地域の安全と環境を守るのは誰なのか。「住みやすいまち」は、どのようにつくられるのか。「自治会」という名の共同体について現状を把握した上で今後の課題についてデータをもとに考察していく。	
	各回内容	
	1	地域社会の位置づけ
	2	地域社会の組織構造
	3	地域社会の機能分類
	4	機能の変化と要因 1
	5	機能の変化と要因 2
	6	機能の変化と要因 3
	7	組織再編 - 人の確保 1 -
	8	組織再編 - 人の確保 2 -
	9	組織再編 - 人の確保 3 -
	10	活動と領域 - 場と空間 1 -
	11	活動と領域 - 場と空間 2 -
	12	会計 - 財源と使い道 1 -
	13	会計 - 財源と使い道 2 -
	14	地域社会の課題 1
15	地域社会の課題 2	

評 価 方 法：定期試験 80%、レポート 20%

教 科 書：授業時にレジュメを配布

参 考 図 書：授業時に紹介

履 修 に あ た っ て：自学自習の一環として課題および簡単なフィールドワークとそのレポートを課す。

受 講 生 へ：身近な自治会（町内会）の問題を考えます。まちづくりの 1 つの方法を提示します。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	未定
開 講 期 間	前期 (4/14 ~ 8/4)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	グローバル化の進行に伴い、アメリカをはじめとする西欧自由主義諸国の政治経済のシステムの支配が全世界に拡大する一方で、国家、民族、宗教、文化間においてこれまでにない新たな対立や格差が生じている。こうした対立や格差を解消するためには「地球全体」という視点が不可欠であろう。本講義ではこの「地球全体」がいかなる意味なのかを受講者全員で考察していく。		
	各回内容		
	1	グローバル化における哲学・倫理学 「グローバル化」とは何かについて、哲学的に考察する	
	2	市場社会と正義 ジレンマ思考実験についてグループワークを行う	
	3	カニバリズム カニバリズムと生命倫理について学び、意見交換を行う	
	4	マイノリティと平等 アファーマティブ・アクションの是非について考察する	
	5	嘘と正義 嘘と正義についてカントの思想も参照しながら考察する	
	6	文化とは 文化とは何か、異文化理解について考察する	
	7	文化と国際問題 文化の違いから生じる国際問題について学び、倫理的に考察する	
	8	タイムパラドックス タイムパラドックスの問題を学び、その倫理的問題を考察する	
	9	グローバル化と生命倫理 (1) 生殖補助医療技術をビジネスとして行うことに是非について考察する	
	10	グローバル化と生命倫理 (2) 身体の「治療」ではなく、「改善」や「増強」を目的とするエンハンスメントの是非について考える	
	11	心と人間 心とは何か、人間とは何かについて思考実験を用いながら考察する	
	12	言語と人間 言語とは何かについて思考実験を用いながら考察し、国際社会の問題を議論する	
	13	グローバル化と環境倫理 環境倫理について、思想家の議論も参照しながら考察する	
14	グローバル化における地球市民 グローバル化における地球市民とは何か、SDGsを参照しながら考察する		
15	まとめ これまでの内容をまとめ、グループ対話を行う		

評 価 方 法：成績は試験 50%、授業レポート 50%として評価する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書：授業プリントを使用する。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要ないので、その都度のテーマについてみんなで真剣に考察していきましょう。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	未定
開 講 期 間	後期 (9/26 ~ 12/19・1/16 ~ 2/6)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	現代の科学技術の諸問題には科学的解決のみならず、社会的合意が必要な倫理的問題も含まれている。この講義では生命倫理・環境倫理・情報倫理などの問題について学び、他者と協力しながら解決策を考える姿勢を身につける。		
	各回内容		
	1	応用倫理学とは？ 応用倫理学と従来の倫理学のアプローチの相違を学び、身近なテーマを取り上げて倫理的ジレンマを考察する	
	2	情報社会と情報倫理 情報社会における倫理について学び、自己の身近な問題と結びつけて考察する	
	3	医療情報と情報倫理 医療情報とインフォームド・コンセントについて、グループワークを通して学ぶ	
	4	生命倫理と自己決定権 (1) 生命倫理における人間の尊厳について学ぶ	
	5	生命倫理と自己決定権 (2) ケアの倫理や安楽死・尊厳死について学び、対話する	
	6	市場社会と生命倫理 脳死と臓器移植について学び、対話する	
	7	家族の倫理 (1) 家族の在り方とジェンダーについて学ぶ	
	8	家族の倫理 (2) 出産にともなう倫理的諸問題について学び、人間とは何か考察する	
	9	市民社会と技術倫理 技術とは何か考え、技術者倫理について学び、自己の身近な問題として考察する	
	10	技術の発達と動物倫理 (1) 肉食の問題と動物実験について学び、自己の身近な問題として考察する	
	11	技術の発達と動物倫理 (2) 種差別と動物倫理について学び、グループワークを行う	
	12	グローバル化とビジネス倫理 異文化とビジネス、富の格差とは何かについて思考する	
	13	自由主義と環境倫理 環境問題と世代間倫理について学び、自己の身近な問題として考察する	
14	民主主義と合意形成 分配と正義の問題について、思想家の議論を通して学ぶ		
15	まとめ これまで扱った内容について全体でまとめを行う		

評 価 方 法：成績は試験 50%、授業レポート 50%として評価する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書：授業プリントを使用する。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要ありません。他者と協力して学んでいきましょう。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	高田 昌代 教授 井上 理絵 准教授 蚊口 理恵 助教
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 8/3)	開 講 曜 日 ・ 時 間	水曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	未定

科 目 内 容	女性の日常生活やライフステージの段階を通じて体験し得る様々な健康に関する事柄を取り上げ、それに関する要因や対処方法、ケアについての理解を深める。その際、女性の健康問題には社会的背景も影響しているため、個人の問題だけでなくジェンダーの視点からも併せて考えていく。		
	各回内容		
	1	ウイメンズヘルスとは/リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは/ジェンダーとは	
	2	男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割	
	3	男女共同参画センターに行ってみよう (現地見学)	
	4	月経にまつわる障害とその対処	
	5	働く女性の健康	
	6	主体的なお産とは	
	7	陣痛促進剤、会陰切開とお産	
	8	不妊にまつわる悩み	
	9	女性とセクシャルヘルス (避妊法を含む)	
	10	人工妊娠中絶とその影響	
	11	在日外国人の母子保健	
	12	ドメスティック・バイオレンス (デート DV を含む)	
	13	性暴力被害とケア	
14	更年期女性の健康		

※科目内容の順序は、1 回目講義時に提示します。

評 価 方 法： ●プレゼンテーション (20%)

4 から 14 までの関心のある内容をパワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う。

●女性センター/男女共同参画センターレポート (20%)

日本中のどこの女性センター/男女共同参画センターでもよいので、自分の時間で行ってみる。研修を受講することもお勧めします。「テーマは①どこに行ったのか。センターの概要、②センターに行ったこと感想、③センターが女性の健康に果たす役割を考える」

●最終のレポート (60%)

レポート課題は科目内容の中からテーマを選んで、A4 2 枚にまとめる。

教 科 書：

参 考 図 書：「子宮力」日本助産師会出版会

「女性の看護学」メジカルフレンド社

「リプロダクティブヘルス/ライツ」メディカ出版

「ドメスティックバイオレンスの視点」朱鷺書房

「デート DV Q&A」解放出版

これ以外の参考文献などは授業中に提示します。

プリント資料を配布します。

履 修 に あ た っ て： 講義は、全体として意味をなすので、毎回出席をしてください。講義だけでなく、ワークや視聴覚教材を取り入れて、体験ができるような教育方法を行います。積極的に参加してください。

受講生は開講中 1 回、興味のあるテーマについて 5 分程度のプレゼンテーションを課しています。予習してくることで他の人に自分の主張を伝えることの楽しさを経験できます。

学内提供科目

曜日	開講時期	科目名	単位数	担当大学	担当教員	時間	掲載頁
3月末に配布する資料をご覧ください。	前期	アニメーション作品表現論	2	芸工大	原口 正宏 講師	3月末に配布する資料をご覧ください。	27
		日本建築の歴史	2		山之内 誠 教授		28
		アート・クラフト概論	2		友定 聖雄 教授 他 8 名		29
		英語学概論 2	2	外 大	山口 治彦 教授 本多 啓 教授		35
		英米文学・文化研究入門	2		吉川 朗子 教授 他 8 名		36
		ヨーロッパ政治 1	2		五月女 律子 准教授		37
		物流産業論	2	県 大	兒山 真也 教授 日本マテリアル・ハンドリング協会		41
		開発経済学	2		福味 敦 教授		42
		スポーツ心理学	2	流科大	内田 遼介 講師		46
		都市防災学	2	高 専	鳥居 宣之 教授 宇野 宏司 教授		49
		周期表の化学	2		宮下 芳太郎 教授		50
		フィールドロボティクス論	2		小澤 正宜 講師		51
		神戸学	1	看護大	藤代節 教授		53
		生化学	1		丹野 恵一 准教授		54
	後期	ランドスケープデザインの歴史	2	芸工大	長濱 伸貴 教授	30	
		日本美術史	2		山崎 均 教授	31	
		ユニバーサルデザイン	2		相良 二郎 教授	32	
		資料講読	2		川中 利満 教授	33	
		ビジュアルデザイン論Ⅱ	2		寺門 孝之 教授 他 3 名	34	
		模擬国連世界大会演習	2	外 大	M.Hollenback 准教授	38	
		ヨーロッパ政治 2	2		五月女 律子 准教授	39	
		言語学入門	2		林 範彦 教授	40	
		地域スポーツ推進論Ⅱ	2	県 大	伊藤 克広 教授	43	
		労働経済学	2		横山 由紀子 教授	44	
		情報メディア論	2		古隅 弘樹 准教授	45	
		キャリア実践論	2	流科大	前川 明 准教授	47	
国際経済論	2	竹内 信行 講師	48				
アルゴリズムとデータ構造	2	高 専	尾山 匡浩 准教授	52			
生活と環境	1	看護大	丹野 恵一 准教授	55			
障害学	1		樫田 美雄 教授	56			

注意事項

2022年1月末現在

対面での授業を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況等によっては急遽、学期の途中も含め、授業の実施方法が変更になる場合があります。また著しく状況が悪化した場合は、非開講もあり得ます。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	原口 正宏 講師
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:20 ~ 19:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	古典の名作の観賞を目的に構成した『アニメーション原論』『アニメ史』を踏まえ、より後年の時代（'80年代～現在）を対象に、注目すべき監督と代表作を上映していくのが本講座の目的。 キーワードは“技法の比較”。優れた作品には、必ず監督がこだわる独自の映像的価値観と表現法が存在する。具体的にその特徴に眼を向け、複数の作品に潜む共通項と変化（差異）を発見、検証していく。		
	各回内容		
	1	東映的方法論とアクションカット主義	宮崎 駿 『ルパン三世カリオストロの城』
	2	虫プロ的方法論と主観カット主義	出崎 統 『ブラック・ジャック』
	3	客観的視点とアンチ・ファンタジー	高畑 勲 『じゃりん子チエ』
	4	色彩とレイアウト虫プロの後継者	川尻 善昭 『吸血鬼ハンター D』
	5	夢と現実 1 ファインダー越しの幻想	押井 守 『うる星やつら 2 ビューティフル・ドリーマー』
	6	夢と現実 2 舞台性とモンタージュ	今 敏 『パーフェクトブルー』
	7	学生の情熱が切り拓いた 80 年代アニメーション	山賀 博之、庵野 秀明 『王立宇宙軍』
	8	漫画家が挑むアニメーション	大友 克洋 『AKIRA』
	9	新・東映派 佐藤 順一	『ユンカース・カム・ヒア』
	10	新・東映派 細田 守	『デジモンアドベンチャー ぼくらのウォーゲーム』
	11	新・東映派 原 恵一	『河童のクウと夏休み』
	12	新・東映派 片渕 須直	『この世界の片隅に』
	13	繰り返されるテキスト	東映的演出の実験場としての『ゲゲゲの鬼太郎』
	14	21 世紀テレビアニメの 2 大潮流	京都アニメーションとシャフト 『日常』『さよなら絶望先生』
15	現代日本の短編アニメーション作家たち		

評 価 方 法： 毎回、採り上げた作家と作品についての観賞レポート（200 字以上）を提出してもらう。

提出期限は、その日の講義終了時から翌週の講義当日まで。2 週以上遅れた課題提出は認めない。出席した回数分は必ず提出すること（3 回欠席した場合は、12 回分のレポート提出は必須）。遅刻は欠席あつかいとする。講義内容を理解し、監督の特性やその歴史的背景、スタジオ系列の影響について把握できているかどうかを判断し、評価の対象とする。必ず、描く作品の演出・作画の技法の特徴に触れ、分析する視点を盛り込むこと。「とても面白かった」「アニメの歴史がよくわかった」という表現だけに終始した抽象的な感想文は受けつけない。レポート内容を 70%、授業参加態度を 30% として全体評価を行う。出席率 70% 未満は不可評価。

教 科 書： 毎回、講義内容に即した資料をコピーの上、配布してテキストとして使用する。また、並行して PowerPoint を使用したポイント解説を行う。配布資料には、作品、監督などについて、講義時間内では紹介しきれなかった内容も記載されているので、次週までに精読し、理解を深めておくことを奨励する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て： 名作といわれる作品を、まずは観賞し、思いきり作品世界に入り込んでみましょう。次に、考えてみましょう。何故、ワクワクしたのか、何故、感動を覚えたのか。何故、絵で描かれたキャラクターや情景に感情移入できたのか。監督たちは常に、私たちの視線を誘導し、映像の中にリアリティを呼び起こすための工夫をしています。その技法の秘密を覗いてみましょう。他大学の皆さんも、アニメーションが専門ではない皆さんも、大歓迎です。作品を別の視点からとらえる訓練をすると、アニメーションがもっと好きになるはずですよ。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	山之内 誠 教授
開 講 期 間	前期 (4/15 ~ 7/29)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	この授業では、古代から近代にわたる日本の歴史的な建築（寺社建築、住宅、城郭、近代建築等）を中心に、インテリアから都市計画まで広範な領域を対象として、基礎的な特徴や、成り立ち及び変遷について、解説する。		
	各回内容		
	1	日本建築の基本構成とその名称	
	2	飛鳥・奈良時代の建築	
	3	古代の都城計画と宮殿建築	
	4	建築構造・意匠の日本的発展過程	
	5	神社の成立とその形式	
	6	密教建築と浄土教建築	
	7	大仏様と禅宗様 - 新様式の輸入と展開	
	8	寝殿造の成立 - 上層住宅の変遷 1	
	9	寝殿造から書院造へ - 上層住宅の変遷 2	
	10	近世城郭と武家住宅	
	11	近世寺社建築の展開	
	12	草庵風建築の誕生と展開	
	13	洋風建築の出現と日本人建築家の誕生？ 西洋建築文化の移入と近代日本の建築界 1	
	14	様式への習熟と近代建築運動 - 西洋建築文化の移入と近代日本の建築界 2	
15	理解度確認テスト		

評 価 方 法：15 回目の授業で課す理解度確認テストにより評価する。

教 科 書：毎回の授業で配布するオリジナルのプリントを用いる。
『日本建築史図集』彰国社（配布プリントを補完するものとして使用）

参 考 図 書：『日本建築史』（建築学の基礎 6）共立出版
『カラー版建築と都市の歴史』井上書院
『コンパクト版建築史【日本・西洋】』彰国社
『カラー版図説建築の歴史』学芸出版社

履 修 に あ た っ て：専門知識の無い他分野の学生でも履修できます。日本の伝統的な建築に関心のある学生に受講してもらえれば幸いです。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	友定 聖雄 教授 笹谷 晃生 教授 戸矢崎 満雄 教授 さくま はな 准教授 田口 史樹 准教授 谷口 文保 准教授 森岡 希世子 准教授 中山 玲佳 助教 三島 一能 助教
開 講 期 間	前期 (4/15 ~ 7/29)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5名程度

科 目 内 容	「アート・クラフト概論」では、アートとはなにか？ クラフトとは何か？ という問いかけに対し、各領域の歴史や理論を背景に造形、表現、伝統、地域、交流などの基本的な要素について論じる。また、各教員の研究分野について解説する。		
	各回内容		
	1	イントロダクション	花の絵
	2	素材と技法 1	アートと社会
	3	素材と技法 2	ガラスのひかり
	4	素材と技法 3	生活のなかの陶芸
	5	素材と技法 4	絵画で描くもの
	6	素材と技法 5	アートとコレクション
	7	素材と技法 6	アートプロジェクト
	8	素材と技法 7	ジュエリーの世界
	9	素材と技法 8	彫刻のひろがり
	10	造形と表現 1	なぜ絵を描くのか？
	11	造形と表現 2	ものづくりとは？
	12	造形と表現 3	社会とつながるには？
	13	造形と表現 4	フィギュアの行方？
	14	素材と表現 5	メタルワークとかたち？
15	造形と表現 6	これからの工芸とは？	

評 価 方 法：「素材と技法 (1 ~ 8)」からテーマを 3 つ選んだレポート (70%) と平常点 (30%) で評価する。「平常点」とは、毎回行う簡単なアンケートを含む授業の理解度と積極性。

教 科 書：

参 考 図 書：プリントの配布もしくは適時指示する。

履 修 に あ た っ て：この授業は、アートやクラフトの分野を 9 名の教員が、それぞれの専門分野を通し紹介し、理解と考察を促す授業です。堅苦しく考えず、アートやクラフトを生活の中でどのように楽しみ、どのように実践していくのかを考える手助けになればと思います。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	長濱 伸貴 教授
開 講 期 間	後期 (9/20 ~ 12/20・1/17 ~ 1/24)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5名程度

科 目 内 容	公園・広場および庭園の空間を対象としたランドスケープデザインの歴史的な意味や社会的な役割について、建築やアートなどの時代背景と共に、その時系列的な探究によってアプローチする。このことによって、ランドスケープデザインの基礎知識の習得および建築や都市計画、インテリア、アートなどの他領域との関係性や協働性を考えるきっかけづくりとなることを目指す。		
	各回内容		
	1	ランドスケープデザインの近代史 (概論)	
	2	庭園からランドスケープデザインへ (1850 年以前)	
	3	近代ランドスケープデザインの幕開け (1850 ~ 1900 年)	
	4	都市とランドスケープの結合 (1900 年代)	
	5	日本のランドスケープデザインの幕開け (1910 年代)	
	6	建築モダニズムとランドスケープ (1920 年代)	
	7	ランドスケープのモダニズム運動の胎動 (1930 年代)	
	8	ランドスケープデザインの断絶期 (1940 年代)	
	9	ランドスケープのモダニズムの展開 (1950 年代)	
	10	ランドスケープのモダニズムの実践 (1960 年代)	
	11	エコロジカル・ランドスケープ (1970 年代)	
	12	ランドスケープデザインの復興 (1980 年代)	
	13	アートとしてのランドスケープ (1990 年代)	
	14	ランドスケープデザインの現在 (2000 年代)	
15	まとめ (ランドスケープ近代史の年表作成)		

評 価 方 法：毎回の講義中に提出するレポートによる。

教 科 書：『テキストランドスケープデザインの歴史』学芸出版社

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：ランドスケープデザイン（公園や広場などの屋外空間のデザイン）の歴史について、芸術や建築の状況、社会の変化などと合わせて講義しますので、他大学や他分野の学生の方にもわかりやすい内容となっています。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	山崎 均 教授
開 講 期 間	後期 (9/20 ~ 12/20・1/17 ~ 1/24)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:20 ~ 17:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	各時代の重要な美術作品、時代背景、日本の伝統工芸、アジアの美術・工芸を含む関連領域の文化、社会的な出来事等に関する基本的知識を理解する。海外の美術、科学技術、美術学校や美術館などの美術をめぐる諸制度、トピックを視野に収め、美術を深く鑑賞する能力を習得する。日本の美術の流れをその社会と文化的な背景を考慮に入れて概観する。縄文・弥生時代から明治、大正、昭和、平成と続く近現代の日本美術までを視野に収める。関連する日本の様々な伝統美術、西洋及びアジアの美術・工芸、芸術文化との相互交流、海外の多彩な文化の刺激を摂取しつつ、独自の美術表現を生み出してきた日本美術の特質を概説する。今に伝わる日本美術の多面的な姿、その伝統と革新の力に満ちた美術を鑑賞し、美術を創造する美術家、それを伝える人々や美術館の営み、さらに新たな時代の美術を生み出す感性について論じる。日本美術を扱う美術館学芸員としての実務経験をもとに、日本美術の収集、保存、展示、研究調査等の視点を特に大切し、作品の取扱い、素材、作品の鑑賞環境と日本美術史との関係についても詳細に講義する。	
	各回内容	
	1	全体オリエンテーション - 縄文・弥生時代、日本美術の特質、伝統と革新、アジアの美術・工芸の流れ
	2	古墳時代及び飛鳥・白鳳時代の美術
	3	奈良時代の美術 (天平時代の美術)
	4	平安時代の美術 (貞観・藤原・院政時代の美術)
	5	鎌倉時代の美術
	6	南北朝・室町時代の美術
	7	桃山時代の美術
	8	江戸時代の美術 1 (元禄時代の美術)
	9	江戸時代の美術 2 (享保・化政時代の美術)
	10	幕末から明治維新へ (開国と文明開化と美術)
	11	明治時代の美術 (日本の伝統工芸、アジアの美術・工芸、美術史の再編と近代美術)
	12	大正から昭和へ
	13	昭和時代の美術 1 (戦前・戦時期の美術)
	14	昭和時代の美術 2 (戦後・高度成長の盛衰と美術)
15	昭和から平成へ (80 年代とポストモダンの諸相)、全体のまとめ	

評 価 方 法：・期末の成績評価レポート 1 回 (3000 字程度) による。
 ・出席が 10 回に満たない者は E 評価。(授業の出席者は、**〆**切期限までに出されたクラスプロファイリング課題提出機能による授業レポート (毎回 800 字以上・本文欄書込み) の提出者とする。正当な理由なく**〆**切期限を過ぎた場合は欠席となるので注意すること。)

教 科 書：レジュメを配布する。

参 考 図 書：『日本美術の歴史』辻惟雄著、東京大学出版会、2005 年

履 修 に あ た っ て：・レポート執筆に際しては、自分の考察・評価・批評の部分を主とし、引用した文献の部分を従として、区別すること。引用は「 」を用いて必ず明記すること。
 ・引用符の使用、脚注を用いた原典の書誌情報、該当する引用元の原典引用範囲等に慎重に留意して、著作権を侵害しないこと。
 ・参考文献・情報、要約した文献の出典は、レポートの最後にリストにし、明確に表示すること。
 ・履修にあたって、日本美術をめぐる美術館や博物館の展示や文化財公開施設を、具体的に授業で紹介しますので、オンラインや実際に親しむ機会をできるだけつくるように心がけてください。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	相良 二郎 教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ~ 12/22・1/12 ~ 1/26)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5名程度

科 目 内 容	<p>目的：社会の高齢化が急速に進む中、誰もが参加できる社会の構築が求められている。年齢や性別、能力の多寡、人種や文化の違いに関わらず、誰もが利用できるように最初からデザインするというユニバーサルデザイン（以下 UD）の考え方は、多くの企業が取り組んでおり、まちづくりや社会づくりなどのコトのデザインにおいてもその考え方が当たり前のことになりつつあり、UDを理解することは全てのデザインにおける基本となる。</p> <p>到達目標：ユニバーサルデザインの考え方を正しく理解し、デザイン活動を始めた今後の各自の取り組みに活かせるようになることを目標とする。</p> <p>スライドや動画を用いた講義形式で行う。</p>	
	各回内容	
	1	UD の理念
	2	米国の障害者施策と差別禁止法
	3	欧州の障害者施策と D4A、Inclusive Design
	4	UD の普及・教育活動
	5	関連法規
	6	ユーザ特性
	7	超高齢社会の問題と UD
	8	建築・まちづくり
	9	交通
	10	情報・コミュニケーション
	11	住宅
	12	住宅設備
	13	家電・公共設備
	14	地球環境保全と防災・減災
15	平和と国際貢献	

評 価 方 法：試験で評価する。ただし、試験の実施が困難な場合はレポートで評価する。

教 科 書：適宜プリントをデータにて配布する。

参 考 図 書：『知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン』IAUDUD 検定中級公式テキスト

履 修 に あ た っ て：ユニバーサルデザインはデザイン界だけでなく、看護、社会学、流通、工学、など多方面で重要な考え方です。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	川中利満 教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ~ 12/22・1/12 ~ 1/26)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	「まんが」とされるジャンルは一体どこから来て、どのように受容され、どこに向かおうとしているのかを、現在および過去の代表作からひも解く。 また、近縁ジャンルである映画・アニメ等も本講義中に言及する。 これにより、表現が社会状況と不可分の関係であることを知り、作品の成立背景やその与えた影響を考える。 #リテラシー #資料分析
	各回内容
	1 現代漫画の誕生「鉄腕アトム」
	2 青年向け漫画の台頭と劇画：「ルパン三世」
	3 少女漫画表舞台へ：「エースをねらえ！」
	4 漫画とキャラクター&ホビー：「仮面ライダー」「マジンガー Z」
	5 児童向け漫画とメディアミックス：「ドラえもん」
	6 まんがニューウェーブ：「AKIRA」
	7 戦う少女漫画：「美少女戦士セーラームーン」
	8 週刊少年ジャンプ黄金時代：「ドラゴンボール」
	9 オタクの台頭：「新世紀エヴァンゲリオン」
	10 萌え文化と BL：「あずまんが」
	11 少年から少女へ：「鋼の錬金術師」
	12 00 年代のリアル：「進撃の巨人」
	13 震災後の世界へ：「魔法少女まどか☆マギカ」
	14 海外の漫画：アメコミとバンド・デシネ
15 最新動向について（※レポート課題提出回）	

評 価 方 法：1) 期末のレポート課題で評価する。提出 70%、内容 30%での評価とする。課題を提出しない場合は E 評価とする。
2) 出席回数が 10 回に満たない場合は E 評価となる。

教 科 書：要点を記したレジユメを授業毎に用意する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：各自準備物：適宜授業内で紹介するが、8 号棟の書架や図書館等を利用して、1950 年代以降の代表的なまんが作品に積極的に目を通しておくこと。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	寺門 孝之 教授 秋山 伸 教授 久本 直子 准教授 廣中 薫 准教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ~ 12/22・1/12 ~ 1/26)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5名程度

科 目 内 容	ビジュアルデザインの主要な構成要素である、「文字」と「イラストレーション」の歴史、世界及び現在の日本における諸傾向について、その多様性を紹介しつつ、歴史的な基盤を探っていく。毎回テーマを定めて具体例を画像、映像あるいは現物資料により確認しながら進めていく。また、絵本についてもイラストレーション、エディトリアルデザインの視点から概観する。		
	各回内容		
	1	オリエンテーション／イラストレーション概論 (寺門)	
	2	ビジュアルデザインにおける文字・レイアウト・タイポグラフィ (秋山)	
	3	文字を書く・活字を配置する (秋山)	
	4	物語とイラストレーション／不思議の国のアリス・桃太郎 (寺門)	
	5	日本語の文字 (ひらがな・カタカナ・漢字) と英文字 (アルファベット) (秋山)	
	6	日本のイラストレーションの基盤／浮世絵 (寺門)	
	7	目の表現の多様性とその変遷 (寺門)	
	8	妖精と妖怪 (寺門)	
	9	絵本 - 過去から現在へ (久本)	
	10	絵本 - これからの時代・絵本と表現方法 - 未来に遺すものとは (久本)	
	11	アートブックの可能性 - 現代美術とエディトリアルデザイン (秋山)	
	12	アートとイラストレーション／イラストレーションと自由 (廣中)	
	13	イラストレーションとマーケット (廣中)	
	14	デザインの地方性／マスプロダクトに抗して (秋山)	
15	絵の効用／神戸とイラストレーション (寺門)		

※各回の内容・順序は必要に応じて変更されることがある。事前に授業または学科棟1階の掲示板で告知する。

評 価 方 法：授業の各回に「レポート」あるいは「アンケート」の提出を課する。それら提出物 (全 15) の内容を総合的に判断し評価する。提出物が 10 に満たない場合は E 評価となる。

教 科 書：適宜にプリントを配布する。

参 考 図 書：その都度紹介・指示をする。

履 修 に あ た っ て：座学ですので、絵を描くのが得意でなくても、履修可能です。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	山口 治彦 教授 本多 啓 教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 8/2)	開 講 曜 日・ 時 間	火曜日 14:25 ~ 15:55
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	<p>英語学概論とは、英語を研究する学問としての英語学の各分野を大まかに見通すことで、「英語とはどのような言語か」「英語学とはどういう学問か」ということについての全体像を作ること为目标とした、入門的な授業です。2022 年度開講の「英語学概論 2」は、英語学の諸分野のうち、言葉の意味という観点から英語の特徴を考える意味論、実際のコミュニケーションの現場における言葉の働きという観点から英語の特徴を明らかにする語用論を中心とした内容になります。</p> <p>This is an introductory course on English linguistics. This year we will talk about semantics (the study of linguistic meaning) and pragmatics (the study of language use in communicative contexts).</p>		
	各回内容		
	1	(04/12)	授業案内。英語学についての全体的な解説
	2	(04/19)	意味論 (1) 意味とは何 (でない) か --- 認知意味論の立場から ---
	3	(04/26)	意味論 (2) 多義
	4	(05/10)	意味論 (3) 日常言語の中の比喩
	5	(05/17)	意味論 (4) 英語の法助動詞
	6	(05/24)	意味論 (5) メタファーなどから考える英語の句動詞などの多義性
	7	(05/31)	意味論 (6) 認知意味論は何を目指す学問か
	8	(06/07)	中間試験と解説
	9	(06/14)	なぞと言語学：電話番号のひみつ
	10	(06/21)	<i>The Da Vinci Code</i> の語用論 (1)：暗号を解く，発話を解釈する
	11	(06/28)	<i>The Da Vinci Code</i> の語用論 (2)：推論算定の指針
	12	(07/05)	<i>The Da Vinci Code</i> の語用論 (3)：言外の意味と会話の規則
	13	(07/12)	女性雑誌の談話分析 (1)：Cosmopolitan のお茶目なことば
	14	(07/19)	女性雑誌の談話分析 (2)：まじめな婉曲法，笑いの婉曲法
	15	(07/26)	女性雑誌の談話分析 (3)：雑誌の戦略と読者へのことば
16	(08/2)	期末試験と解説	

評 価 方 法：毎回の授業への取り組みと、各担当教員の課す課題（中間・期末試験またはレポート）によります。

教 科 書：資料を配布しますので、教科書は使用しません。

参 考 図 書：(意味論) 『ファンダメンタル認知言語学』(野村益寛 (著)、ひつじ書房、2014)
『英単語の世界 --- 多義語と意味変化から見る』(寺澤盾 (著)、中央公論新社、2016、中公新書) ほか。
これ以外の本は授業中に紹介します。

履 修 に あ た っ て：英語という言語を論理的・客観的に見たいという知的好奇心と大学生にふさわしい英語力があれば受講できます。

途中で休むと次回以降の授業を理解することが難しくなる場合がありますので、できるだけ欠席することなく毎回出席してください。

授業の進行状況によって内容に一部変更が生じることがあります。その際は授業中に連絡します。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	吉川 朗子 教授 他
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 7/26)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:05 ~ 17:35
対 象 学 年	1 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	神戸市外国語大学英米学科文学文化系教員によるリレー講座です。同じテーマで毎回専門の異なる教員がそれぞれの専門分野の視点から講じます。今年のテーマは「英米の名著を読む」です。英米の名著を紹介しながら、文学、文化、歴史を読み解いていきます。		
	各回内容		
	1	イントロダクション	
	2	エグリントンみか シェイクスピア悲劇『マクベス』を読む	
	3	Matt Theado, Typewriters and Roadmaps: American Travel Writing	
	4	Matt Theado, Record Players and 1960s Protest Songs	
	5	吉川朗子 William Wordsworth, <i>Lyrical Ballads</i> (1798) のなかの子供	
	6	吉川朗子 William Wordsworth, <i>The Prelude</i> (1805) のなかの子供	
	7	Henry Atmore, "Some Of Us Had Been Threatening Our Friend Colby" by Donald Barthelme	
	8	大西寿明 「男」という牢獄 — Evelyn Waugh の <i>Decline and Fall</i> を読む	
	9	難波江仁美 Henry James の「アメリカ娘」を読む (1)	
	10	難波江仁美 Henry James の「アメリカ娘」を読む (2)	
	11	光永雅明 J. S. ミル、『自伝』を読む	
	12	光永雅明 J. S. ミル、『自伝』を読む	
	13	井上詩歩子 Sylvia Plath, <i>Ariel</i> (1965) を読む	
	14	西川健誠 欽定訳聖書と英米詩 (1)	
15	西川健誠 欽定訳聖書と英米詩 (2)		

評 価 方 法：前半・後半それぞれレポートを提出 (6/14, 8/2 締め切り)。期日厳守。出席重視。

教 科 書：各教員がプリント等を授業時に提供する。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：・前半・後半でレポート提出。それぞれの提出期限を厳守してください。

- ・内容については各教員から説明があります。
- ・前半、後半、どちらにおいても3回以上欠席した学生は評価の対象とならないので注意してください。
- ・なお、都合により講義の順番や講師が変更される場合もあります。
- ・昨年以前に受講して単位を得た人は受講不可。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	五月女 律子 准教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ~ 8/4)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 12:45 ~ 14:15
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	特に定めない

科 目 内 容	本講義では、ヨーロッパ諸国の政治体制、政党政治、EU との関係について学ぶことを目標とする。まず、政党の思想的基盤となっている一般的なイデオロギーや思想を概観し、国レベルでの政党システムおよび選挙制度に関する分類について学ぶ。その後、ヨーロッパ各国の国内政治およびヨーロッパ統合への対応について考察する予定である。		
	各回内容		
	1	ガイダンス、ヨーロッパとは？	
	2	政治・政党とは何か	
	3	政治思想・イデオロギー (1) 【自由主義】 【民主主義】 【全体主義】 【権威主義】	
	4	政治思想・イデオロギー (2) 【社会主義・共産主義】 【社会民主主義】 【現代】 【福祉国家】	
	5	政党システムと選挙制度 (1) 【政党の分類】 【政党システム】	
	6	政党システムと選挙制度 (2) 【政権】 【有権者】	
	7	イギリス (1) 【政治体制】 【政党政治】	
	8	イギリス (2) 【投票行動】 【ヨーロッパ統合】	
	9	フランス (1) 【政治体制】 【政党政治】	
	10	フランス (2) 【選挙戦略】 【ヨーロッパ統合】	
	11	ドイツ (1) 【政治体制】 【政党政治】	
	12	ドイツ (2) 【連立政権】 【ヨーロッパ統合】	
	13	オランダ	
	14	ベルギー	
15	定期試験		
16	総括		

評 価 方 法：履修登録者が 50 名以上：期末筆記試験（100%）
 30 ~ 49 名：課題（30%）と期末筆記試験（70%）
 30 名未満：課題（50%）と期末筆記試験（50%）

教 科 書：森井裕一編『ヨーロッパの政治経済・入門』（新版）有斐閣（ISBN：9784641184572）、2022 年 3 月刊行予定。

参 考 図 書：坂井一成・八十田博人編『よくわかる EU 政治』ミネルヴァ書房、2020 年。
 その他は講義時に紹介する。

履 修 に あ た っ て：
 ・ 講義中の撮影・録画・録音は禁止。
 ・ 配布するハンドアウトと資料は個人の学習のみに使用し、SNS やインターネット上に掲載しないこと。
 ・ 講義中に寝る学生は、対面授業に出席しないこと。私語も慎むこと。
 ・ 大学が認めた公欠以外の理由での追試は行わない。
 ・ 講義の進捗状況に応じて内容が一部変わる場合がある。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	Michael Hollenback 准教授
開 講 期 間	後期 (8/6 ~ 12/3・11/23 ~ 11/26)	開 講 曜 日・時 間	土曜日 9:30 ~ 12:00
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	In November 2022, students in the class will join the National Model United Nations (NMUN) Japan in Kobe, from Wednesday November 24 to Sunday November 27 (nmun.org). Students must stay at a conference hotel as a delegation. Interviews will be held May 27. On August 6, there will be an orientation that those accepted and registered in the class must attend. At that time, UN committees, agendas, partners, mentors, and materials will be given to the students. Classes will be held weekly on Saturday mornings from 9:30-12:00. The Policy Day and two Model-Conferences will be held from 9:30-17:00.		
	各回内容		
	1	(08/06)	Orientation & MUN Introduction
	2	(08/13)	Motion Making & Researching
	3	(08/20)	Conference Flow & Reading Resolutions
	4	(08/27)	Position Paper Writing
	5	(09/03)	Agenda Setting & Policy Making
	6	(09/10)	Explaining Policies
	7	(09/17)	Resolution Writing
	8	(09/24)	Merging
	9	(10/01)	Policy Day (09:30-17:00)
	10	(10/08)	Speech Making & Voting Procedure
	11	(10/15)	Conference Flow & Division of the Question
	12	(10/22)	Amendments & Clause Writing
	13	(10/29)	Model Conference 1 (09:30-17:00)
	14	(11/05)	Strategy Planning
	15	(11/12)	Model Conference 2 (09:30-17:00)
	16	(11/23)	NMUN Japan Conference Day 1 (Start stay at hotel)
	17	(11/24)	NMUN Japan Conference Day 2
	18	(11/25)	NMUN Japan Conference Day 3
	19	(11/26)	NMUN Japan Conference Day 4 (Check-out 11/27)
20	(12/03)	Reflection / Feedback / Wrap-Up	

評 価 方 法 : 50% of the course work will be on MUN preparation, and 50% will be on the simulation and debriefing

教 科 書 : None

参 考 図 書 : Materials will be provided by professors

- 履 修 に あ た っ て :
1. Fees: Delegates will be required to pay a participation fee (approximately 50,000 yen) that covers NMUN Japan Conference fee, hotel accommodation and breakfast at the hotel.
 - a. Conference fees are due by mid-September, and cannot be refunded
 - b. There are no additional class fees
 2. Language Requirements: The language of the class and conference is English, and all students must be able to negotiate and write about United Nations topics
 - a. A minimum English proficiency level is required (TOEIC 800/TOEFL 72/IELTS 6.5/CEFR C1/EIKEN Pre-1 grade)
 3. Participation Requirements: All students who wish to join the course must go through an orientation, application, and interview process before they are registered.
 - a. Information Session: May 11 (KCUFS), 12 (KCUFS), 14 (UNITY)
 - b. Application: Due May 27th at 17:00
 - c. Interview: June 11th
 4. Delegate Groupwork: All participating students will be working in pairs and groups throughout the preparation and conference. Students applying are strongly recommended to apply together as a pair with another student from your own university for ease of communication. All students must commit to working with partners, mentors, leaders, and faculty for their class participation.

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	五月女 律子 准教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ~ 12/15・1/12 ~ 2/2)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 12:45 ~ 14:15
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	特に定めない

科 目 内 容	本講義では、国際政治の様々な面を見ることができるヨーロッパに焦点を当て、分裂と統合の歴史を概観する。また、EUにおける各分野の政策に関して、その発展過程を理解するとともに問題点を探ることを目指す。それらを通じて、学生自らが情報を整理して考えをまとめ、根拠を示しながら自分の意見や主張を述べる力を身につけることも目指したい。		
	各回内容		
	1	ガイダンス、ヨーロッパ統合の歴史	
	2	ポスト冷戦とヨーロッパ統合	
	3	ヨーロッパ統合の理念と機構	
	4	残存する分断と軋轢	
	5	域内市場政策 (1) 【単一欧州議定書】	
	6	域内市場政策 (2) 【流通自由化の弊害】	
	7	単一通貨政策 (1) 【ウェルナー報告書】	
	8	単一通貨政策 (2) 【域内南北格差】	
	9	共通農業政策 (1) 【途上国】	
	10	共通農業政策 (2) 【規制】 【環境】	
	11	共通外交・安全保障政策	
	12	国際社会における主体としての EU	
	13	ヨーロッパ統合における課題 (1) 【EU 拡大】 【東西格差】	
	14	ヨーロッパ統合における課題 (2) 【極右勢力】 【EU 懐疑】	
15	定期試験		
16	総括		

評 価 方 法：履修登録者が 50 名以上：期末筆記試験（100%）
 30 ~ 49 名：課題（30%）と期末筆記試験（70%）
 30 名未満：課題（50%）と期末筆記試験（50%）

教 科 書：森井裕一編『ヨーロッパの政治経済・入門』（新版）有斐閣（ISBN：9784641184572）、2022 年 3 月刊行予定。

参 考 図 書：坂井一成・八十田博人編『よくわかる EU 政治』ミネルヴァ書房、2020 年。
 その他は講義時に紹介する。

履 修 に あ た っ て：
 ・講義中の撮影・録画・録音は禁止。
 ・配布するハンドアウトと資料は個人の学習のみに使用し、SNS やインターネット上に掲載しないこと。
 ・講義中に寝る学生は、対面授業に出席しないこと。私語も慎むこと。
 ・大学が認めた公欠以外の理由での追試は行わない。
 ・講義の進捗状況に応じて内容が一部変わる場合がある。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	林 範 彦 教 授
開 講 期 間	後期 (9/22 ~ 2/2)	開 講 曜 日 ・ 時 間	木曜日 12:45 ~ 14:15
対 象 学 年	全学年(ただし、1年生・2年生に推奨)	募 集 人 員	加盟大学から 50 名程度 (ただし、神戸市外国語大学の学生は制限がありません)

科 目 内 容	<p>普段私たちはことばを使ってコミュニケーションをとります。何気なく使っていることばも時には相手に伝わらなかつたり、いろんな意味があることに気づいたりすることもあるでしょう。また同じ意味だと思うのに、違う形の語彙に出くわしたりすることもあると思います。語学学習の際、日本語にはない音がたくさんあって驚いたこともあるでしょう。言語学はこのようなことばに関する様々な問題に対して科学的研究を進める学問です。この講義では言語学の基礎をいろんな角度から楽しみながら学んでいきます。そしてコース修了時には(1)言語研究をもっと進めたい、(2)語学学習がはかどる、(3)他の隣接諸分野とつなげて学習したくなるなどの効果を目指します。</p> <p>This course is designed for students without fundamental knowledge of the study of language. Keywords are: Sounds, Words, Sentences, Meaning, Language and Society, Language and History, Language and Cultures.</p>	
	各回内容	
	1	序章 インTRODクシヨン 言語学の学び方 / Introduction to This Course
	2	序章 人間の言語の特徴 「ピーちゃんとの会話」 / General Features of Human Language
	3	第1章 形態論 1: 形態論の基礎 「どう? ちょっとそこらでカフェる?」 / Basics in Morphology (the Study of Word Formation)
	4	第1章 形態論 2: いろいろな語形成と類型論 「センター・AKB・まゆゆとばみゆばみゆ」 / Various Types in Word Formation
	5	第2章 音声学と音韻論 1: 子音と母音 「3つの「タ」」 / Phonetics and Phonology 1: Consonants and Vowels
	6	第2章 音声学と音韻論 2: 音調と音韻論の導入 「5つの「マー」」 / Phonetics and Phonology 2: Tones and Basics in Phonology
	7	第2章 音声学と音韻論 3: 音韻分析の手法 「ピーターとスパイダーマン」 / Phonetics and Phonology 3: Basics in Phonological Analysis
	8	第3章 統語論 1: 統語論の基礎 「主人公と脇役」 / Syntax 1: Basics in Syntax (the Study of Sentence Structure)
	9	第3章 統語論 2: 生成文法の基礎 「ことば・脳・生まれつき」 / Syntax 2: Generative Grammar
	10	第4章 意味論「ケーキと時間と場所を食う」 / Semantics: Basics in the Study of Meaning
	11	第5章 談話文法と語用論 「あの一、今日は子供が熱出しまして」 / Discourse Grammar and Pragmatics
	12	第6章 言語と社会 「バス、なんぼ待ってもこーへんし」 / Language and Society
	13	第7章 言語の歴史 「けふこのへにほひぬるかな」 / History of Language
	14	第8章 世界の諸言語と言語 / 言語学の未来 「ことばの 100 年後って?」 / World Languages and Their Future
15	進度調整 / Adjustment	
16	まとめとテスト / Course Summary and Test	

評 価 方 法 : 授業参加度 (10%以下)、期末試験 (90%以上)
ただし、新型コロナウイルスの感染拡大などの問題が発生し、対応が必要となる場合は、レポートなどへの切り替えを行う可能性があります。

教 科 書 : 教科書は使用しません。ハンドアウトを配布します。また参考図書や資料などは授業中随時紹介します。

参 考 図 書 : 適宜授業中に紹介しますが、以下の本は手元に置いておくと、学習に役立つと思われます。
風間喜代三ほか (編) 2004『言語学 第2版』東京: 東京大学出版会
斎藤純男・田口善久・西村義樹 (編) 2015『明解言語学辞典』東京: 三省堂

履 修 に あ た っ て : 履修希望者にはできる限り初回授業時に出席してください。あと、携帯電話やスマートフォンなどの電子機器は授業中必要ないので、鞆の中にしまっておいてください。わからないことは遠慮せずに、担当教員にかならず質問してください。
他の人の迷惑になりますので、私語は謹んでください。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	兒山 真也 教授 日本マテリアル・ハンドリング協会
開 講 期 間	前期 (4/13 ~ 8/3)	開 講 曜 日・ 時 間	隔週水曜日 13:00 ~ 16:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	15 名程度

科 目 内 容	企業経営にとって、大きな関心事となっている「物流・ロジスティクス」を基礎から始めて、先進的な企業の実例を踏まえて紹介することにより、キャリア形成の可能性について学生自身が考えられるようにする。 「物流・ロジスティクス」の基礎知識を身に付けてもらうことにより、企業入社時に必要な「物流・ロジスティクス」の理解を深め、学生の視野を広げてもらう。 企業研修でも使われる 3 級テキストの内容に沿って、より企業の実例を交え、わかりやすく基礎から「物流・ロジスティクス」を実務経験豊富な講師（日本マテリアル・ハンドリング協会加盟の専門家）により紹介する。		
	各回内容		
	1	(04/13)	オリエンテーション (カツヤマキカイ株式会社) 物流業・MH 業の産業概論 (株式会社ダイフク)
	2	(04/13)	物流の概念と物流管理 (J-SCI コンサルティング)
	3	(04/27)	物流システム管理 (YKK AP 株式会社)
	4	(04/27)	物流サービス管理 (YKK AP 株式会社)
	5	(05/18)	在庫管理・物流コスト管理 (ニッコンホールディングス株式会社)
	6	(05/18)	包装の基礎 (親和パッケージ株式会社)
	7	(06/01)	ユニットロードシステム (日本パレットレンタル株式会社)
	8	(06/01)	Amazon のイノベーションを支えるフルフィルメントセンター (アマゾンジャパン合同会社)
	9	(06/15)	保管概論と物流システム事例 (村田機械株式会社)
	10	(06/15)	搬送概論と物流システム事例 (伊東電機株式会社)
	11	(06/29)	輸送 (山九株式会社)
	12	(06/29)	輸配送システム (山九株式会社)
	13	(07/13)	経営課題としての物流最適化 (株式会社ビックカメラ)
	14	(07/13)	ドローン物流が実現するフィジカルインターネットの世界とは (日本郵便株式会社)
	15	(07/27)	まとめ・終講・物流企業紹介 (各社) [3 限 (13:00 ~ 14:30) のみ]
16	(08/03)	試験	

評 価 方 法：①授業参加 10% ※参加態度、授業での発言なども考慮、②リアクションペーパー 60%、③期末試験 (定期試験期間中) 30%。

教 科 書：各講義で配布する資料を主教材とする。

参 考 図 書：中央職業能力開発協会 (編)、社会保険研究所 (発売元)『ロジスティクス管理 3 級 第 3 版』『ロジスティクス・オペレーション 3 級 第 3 版』をサブテキストとする。

履 修 に あ た っ て：変則日程 (隔週水曜、2 コマ連続) なので注意すること。
 授業の予習、復習のみならず、中央職業能力開発協会が実施する 3 級の試験にも、是非挑戦してください。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	福味 敦 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	貧困問題をはじめ途上国が直面する厳しい現実と、発展途上であるがゆえの可能性・ダイナミズムを、経済学的な観点より理解することを目的とする。講義終了後も途上国に関心を持ち続けてもらえれば、一定の目的を達成したと考える。	
	各回内容	
	1	貧困とは何か
	2	経済開発と社会開発
	3	貧困と不平等
	4	貧困と不平等：指標
	5	ランダム化比較実験の考え方
	6	社会開発：スラムとインフォーマルセクター
	7	社会開発：教育
	8	社会開発：保健
	9	農村開発：緑の革命
	10	農村開発
	11	農村開発：マイクロファイナンス
	12	ガバナンスと経済発展：汚職
	13	ガバナンスと経済発展：政治体制
	14	開発援助
15	まとめ	

評 価 方 法：平常点 20%（課題）・期末テスト 80%

教 科 書：適宜資料を配付する。

参 考 図 書：絵所秀紀『開発の政治経済学』日本評論社 1997 年
 黒崎卓・山形辰史『開発経済学 貧困削減へのアプローチ』日本評論社 2003 年
 W・イースタリー著（小浜裕久他訳）『傲慢な援助』東洋経済新報社 2009 年
 A・バナジー& E・デュフロ著（山形浩生訳）『貧乏人の経済学』みすず書房 2012 年
 その他、世界銀行『世界開発報告』・UNDP『人間開発報告』・外務省『ODA 白書』など

履 修 に あ た っ て：特になし。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	伊藤 克広 教授
開 講 期 間	後期	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	スポーツに関する法律や政策について社会科学の視点から探り、現代社会におけるスポーツの役割や機能について理解を深める。		
	各回内容		
	1	スポーツ関連法	
	2	スポーツ推進計画	
	3	スポーツ行政	
	4	スポーツ政策	
	5	スポーツに関連する条例	
	6	地方自治体のスポーツ推進計画	
	7	地方自治体のスポーツ行政	
	8	スポーツと観光	
	9	スポーツと地域活性化	
	10	部活動を巡る状況	
	11	地域スポーツクラブの育成	
	12	スポーツと安全	
	13	パラ・スポーツの推進	
14	メガスポーツイベントの開催と地域		
15	講義のまとめ		

評 価 方 法：授業時間に実施する小テスト・小レポート等（70%）、最終レポート（30%）

教 科 書：特に指定しない。講義内で適宜指示する。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の講義に出席すること。講義内での積極的な発言（私語ではない）を期待する。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	横山 由紀子 教授
開 講 期 間	後期	開 講 曜 日・時 間	月曜日 13:00～14:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	労働市場に関することや身近な社会問題・時事問題を題材に、グループ・ディスカッションを行う。	
	各回内容	
	1	イントロダクション
	2	結婚、家族の規模
	3	離婚
	4	性的マイナリティ
	5	少子化・出産
	6	女性の就業
	7	小テスト
	8	高齢化
	9	教育問題
	10	貧困と格差
	11	所得保障の在り方
	12	小テスト
	13	労働市場に関する時事トピック
14	社会保障制度に関する時事トピック	
15	まとめ	

評 価 方 法：毎回のグループ討論への参加を前提とし、発表 50%、レポート・小テスト 25%、期末テスト 25% を基準として議論での積極的な発言を含めて総合的に評価する。

教 科 書：指定しない

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回出席することは当然とこととし、議論への積極的な参加も必須である。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	古隅 弘樹 准教授
開 講 期 間	後期	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 16:20 ~ 17:50
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	30 名程度

科 目 内 容	メディアの歴史から技術の発展を概観し、メディアの特性による情報伝達の違いや技法について詳解する。また、関連する課題に取り組むことでメディアリテラシーを高める。		
	各回内容		
	1	ガイダンス、情報・メディアとは何か	
	2	メディアの歴史 1 印刷技術 (1)	
	3	メディアの歴史 2 印刷技術 (2)	
	4	メディアの歴史 3 通信技術 (1)	
	5	メディアの歴史 4 通信技術 (2)	
	6	メディアの歴史 5 映像技術	
	7	マスメディア 1 新聞	
	8	マスメディア 2 テレビ	
	9	マスメディア 3 ラジオ、防災メディア	
	10	マスメディア 4 広告・雑誌	
	11	マスメディア 5 インターネット	
	12	素材の特性 1 配色と図形	
	13	素材の特性 2 情報表現	
14	メディアの将来		
15	総括		

評 価 方 法：受講態度や提出物による平常評価 (20 ~ 30%)、および試験 (70 ~ 80%) により評価する。

教 科 書：毎回の資料を配布予定。

参 考 図 書：西端律子他『メディアリテラシー』実教出版 (2004 年)
 橋元良昭『メディアと日本人：変わりゆく日常』岩波新書 (新赤版) 1298 (2011 年)
 渡辺武達他『メディア学の現在：新訂第 2 版』世界思想社 (2015 年)
 その他、適宜紹介する。

履 修 に あ た っ て：情報科学概論など、情報関連の入門科目を履修済みであることが望ましい。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	内田 遼介 講師
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 7/19)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	<p>スポーツ心理学は、スポーツ場面で観察される人間行動を、主に心理学の研究手法を用いて探求する学問である。本講義では、最初にスポーツ心理学の歴史や研究対象、研究方法について説明する。これによりスポーツ心理学とはどのような学問なのか理解する。その後、スポーツにおける動機づけやスポーツの社会心理、運動の学習と指導など、個別のトピックに焦点化して説明する。最終的に、スポーツの活動場面や指導場面において、スポーツ心理学の知識を活かせるようになることを目指す。</p>	
	各回内容	
	1	授業ガイダンス
	2	スポーツにおける動機づけ①
	3	スポーツにおける動機づけ②
	4	スポーツの社会心理①
	5	スポーツの社会心理②
	6	スポーツの社会心理③
	7	運動の心理的効果
	8	前半総括：理解度確認テスト①
	9	運動の学習と指導①
	10	運動の学習と指導②
	11	運動の学習と指導③
	12	運動の学習と指導④
	13	メンタルトレーニング①
	14	メンタルトレーニング②
15	後半総括：理解度確認テスト②	

評 価 方 法：・各回の講義終了後に提示する課題 (50%)
 ・第 8 週目の理解度確認テスト① (25%)
 ・第 15 週目の理解度確認テスト② (25%)

教 科 書：中込四郎・伊藤豊彦・山本裕二(編著)(2012)『よくわかるスポーツ心理学』ミネルヴァ書房

参 考 図 書：シュミット, R.A. 調枝孝治(監訳)(1994)『運動学習とパフォーマンス』大修館書店

履 修 に あ た っ て：授業の進め方や内容については新型コロナウイルス感染症の感染状況や受講生の理解度に応じて変更する場合があります。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	前川明 准教授
開 講 期 間	後期 (9/28 ~ 1/18)	開 講 曜 日 ・ 時 間	水曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	3 年次のみ	募 集 人 員	100 名程度

科 目 内 容	<p>本科目の到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己 PR の作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めていくことにある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SPI 等の筆記試験対策で得意、不得意な分野を自己評価する。 ・ 自分の強さ・弱さの分析から自己 PR をまとめる。 ・ 業界企業を分析し、自己 PR と志望動機につなげていく。 ・ 就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定する。 		
	各回内容		
	1	イントロダクション：就職環境の現状と課題	
	2	働くことの意味	
	3	社会・企業を取り巻く環境	
	4	業界研究・企業研究	
	5	企業研究・仕事研究	
	6	自己分析①	
	7	筆記試験①	
	8	筆記試験②	
	9	自己分析②	
	10	エントリーシート・履歴書	
	11	グループディスカッション	
	12	面接①	
	13	面接②	
	14	就職活動の戦略の立て方	
15	まとめ		

評 価 方 法：毎回の授業で記入するミニレポート (45 点)
 最終レポート (35 点)
 提出課題 (宿題) 点 (10 点)
 授業内での小テスト (10 点)

教 科 書：必要に応じて資料を配布する。

参 考 図 書：授業内容に合った最新の書籍を随時案内する。

履 修 に あ た っ て：この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー (時間を守る、私語を慎む等) を守ること。
 3 年生から 4 年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、日頃から新聞等で社会全般についての情報に関心を持つこと。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	竹内 信行 講師
開 講 期 間	後期 (9/29 ~ 1/19)	開 講 曜 日・ 時 間	木曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	150 名程度

科 目 内 容	<p>経済のグローバル化が進んでいる中、私たちの生活は「国際経済」と切り離して考えることができません。例えば、身の回りの商品の多くが輸入品であったり、急激な円安によって海外ブランド商品が買えなくなったりというように私たちの身のまわりには「国際経済」に関する現象が数多く潜んでいます。本講義では、こうした現象を正しく理解するために「なぜ貿易をするのか?」「貿易黒字・赤字の意味とは?」「貿易政策の効果とは?」といった国際経済学の基礎を解説していきます。</p> <p>取り扱う内容の多くはミクロ経済学やマクロ経済学の知識を基にしており、複雑で難解な面もありますが、丁寧な解説を心がけ、楽しく学んでいけることを目標にします。</p>		
	各回内容		
	1	国際経済と日本 – イントロダクション –	
	2	マクロ経済学の復習 (1) ある国の経済活動とは? – 経済循環図とマクロ経済学入門 –	
	3	マクロ経済学の復習 (2) GDP と三面等価の原則	
	4	貿易黒字/赤字とマクロ経済	
	5	貿易収支と為替レート・物価・交易条件	
	6	国際貿易論入門 (1) 何を輸出して何を輸入するのか? – 絶対優位説と比較優位説 –	
	7	国際貿易論入門 (2) 比較優位説 (続き)	
	8	国際貿易論入門 (3) 比較優位説の応用	
	9	国際貿易論入門 (4) 産业内貿易	
	10	貿易政策入門 (1) さまざまな貿易政策と分析の準備 (需要曲線と消費者余剰)	
	11	貿易政策入門 (2) さまざまな貿易政策と分析の準備 (供給曲線と生産者余剰)	
	12	貿易政策入門 (3) 関税と輸入割当の効果	
	13	貿易政策入門 (4) 生産補助金の効果	
	14	貿易政策入門 (5) 貿易政策のまとめ	
15	貿易と経済発展		

評 価 方 法：平常点 (40%) および期末試験 (60%) で評価する

教 科 書：使用しない

参 考 図 書：ハンドアウトを配布するため、教科書は特に必要ありません。しかしハンドアウトだけでは不安な方は、下記にあげる参考文献の中から自分にあったものを用意してください。
 石川城太、椋寛、菊地徹『国際経済学をつかむ 第2版』有斐閣、2013年
 伊藤元重『ゼミナール国際経済入門 (改訂3版)』日本経済新聞社、2005年
 澤田康幸『基礎コース 国際経済学』新世社、2004年

履 修 に あ た っ て：「パッと聞いて分かる」というよりは「じっくり考えてから分かる」ことが多い学問です。そのため、講義内容の理解には「根気」と「努力」が必要になります

- ・履修にあたり経済学の予備知識をほとんど必要としません。一方、そのためミクロ経済学・マクロ経済学の復習の時間が長くなりますが、あらかじめご了承ください
- ・講義の内容上、数式や図表を用いることが多くなります。それにともなって必要となる数学については適宜、説明を行います
- ・講義予定の消化より受講生の理解を優先するため、上記の講義計画に対して進度が大幅に遅れたり内容を一部変更したりする可能性があります

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	鳥居 宣之 教授 宇野 宏司 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・ 時 間	未定
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	我が国は様々な自然的・社会的条件から災害が発生しやすい環境下に置かれている。特に、人口・資産が集積した都市においてひとたび大規模な災害が発生した場合には、人的にも物的にも甚大な被害が発生することが予測される。本講義では、都市を災害から守るための取り組み方とその変遷について学習する。	
	各回内容	
	1	近年の我が国における自然災害
	2	我が国における都市防災対策とその変遷
	3	災害気象学 (1)
	4	災害気象学 (2)
	5	神戸市域で発生した風水害
	6	地震の基礎知識
	7	神戸市域で発生した地震災害
	8	中間試験
	9	中間試験の解説、災害と危機管理
	10	企業防災・地域防災
	11	災害情報 (1)
	12	災害情報 (2)
	13	災害情報 (3)
14	災害情報 (4)	
15	「我が家の防災マップ」報告会	

評 価 方 法：成績は、試験 70%、レポート 25%、プレゼンテーション 5%として評価する。試験成績は 2 回の試験（中間試験・定期試験）の平均点とする。

教 科 書：講義時に適宜配布する講義資料

参 考 図 書：『防災工学』：石井一郎編（森北出版）
『地震・高潮・山崩れ－自然災害入門』：塩田修（新風舎）
『これからの防災・減災がわかる本』：河田恵昭（岩波ジュニア新書）
『暮らしと自然災害』：後藤 恵之輔ほか（電気書院）
『都市と防災』：目黒公郎、村尾修（放送大学教育振興会）

履 修 に あ た っ て：レポート課題は、提出期限を厳守すること（提出遅れは、原則、評価対象外）。出席回数 2/3 以上の者に対して成績を評価する。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	宮下 芳太郎 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	現在では 118 種類に及ぶ元素の性質は原子番号とともに周期的に変化し、これをまとめたものが元素の周期表である。本講義では、元素の発見あるいは合成の歴史について触れるとともに、主に無機化学の立場から単体及び化合物の各論を周期表と関連づけて紹介する。	
	各回内容	
	1	元素の発見と周期表
	2	水素原子の構造
	3	化学進化
	4	素粒子と複合粒子
	5	放射性同位体
	6	周期表の歴史
	7	物性の周期性
	8	水素分子の性質
	9	s - ブロック元素各論
	10	p - ブロック元素各論 (1)
	11	p - ブロック元素各論 (2)
	12	d - ブロック元素各論 (1)
	13	d - ブロック元素各論 (2)
	14	f - ブロック元素各論
15	超重元素と未発見元素	

評 価 方 法：レポート (30%) 及び期末試験 (70%) で評価する。

教 科 書：「新・元素と周期律」：井口洋夫・井口眞 共著 (裳華房)

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：高等学校において、化学及び物理を履修していることが望ましい。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	小澤 正宜 講師
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	ロボットを実環境で使用するために必要となる知識、理論を学習する。	
	各回内容	
	1	ガイダンス、フィールドロボティクスの概要
	2	ロボットの使用環境
	3	ロボットの計測・採取対象 1
	4	ロボットの計測・採取対象 2
	5	ロボットの機械的強度
	6	ロボットの推進力
	7	機械材料の種類
	8	機械材料の特性
	9	電力源の種類と特性
	10	電気部品の配置と電磁的干渉
	11	現代制御理論の導入
	12	状態方程式の立式 1
	13	状態方程式の立式 2
14	総合演習 1	
15	総合演習 2	

評 価 方 法：定期試験（85%）およびレポート（15%）で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：初回の出席者で授業の実施方針を決めるので必ず出席すること。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	尾山 匡浩 准教授
開 講 期 間	後期	開 講 曜 日・ 時 間	未定
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	アルゴリズムに関する知識は問題ごとに個別的なものであり、何か統一的な原理があつてそれですべてが解決するというものではない。しかし、代表的な優れたアルゴリズムを理解することにより、アルゴリズム設計のかんどころというものが習得できるはずである。この科目では、特定の応用分野に限定されない一般的なアルゴリズムについて、それを実現するためのデータ構造とともに解説する。授業は輪講形式で行い、プログラム演習を取り入れることでその理解を深める。	
	各回内容	
	1	アルゴリズムと計算量
	2	探索（線形探索・2分探索）
	3	探索（2分探索木）
	4	探索（平衡木・B木）
	5	探索（ハッシュ法）
	6	整列（選択法・挿入法・シェルソート）
	7	整列（クイックソート）
	8	整列（ヒープソート）
	9	整列（マージソート）
	10	グラフ（グラフの表現と探索）
	11	グラフ（各種連結性の判定）
	12	グラフ（最短路の問題）
	13	文字列のアルゴリズム
	14	難しい問題（バックトラック法）
15	まとめ	

評 価 方 法：成績は、試験 70%、演習課題（輪講資料含む）30%として評価する。
 なお、試験には課題レポートに関する設問を含む。

教 科 書：『アルゴリズムとデータ構造』石畑清著（岩波書店）

参 考 図 書：別に指示する。

履 修 に あ た っ て：手続き型言語を用いたプログラミングの経験があること。
 配列、関数、ポインタ等の基礎は理解できていること。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	藤代 節 教授
開 講 期 間	前期 (前半)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 13:10 ~ 14:40
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	(本学学生を入れて) 100 名程度

科 目 内 容	神戸について多角的に学ぶ授業です。歴史、食物、建築、映画、スポーツ、文学、ファッション、ことば、国際交流、観光、自然等々から毎年いくつかのテーマを選び、各分野の第一人者を講師として迎え、様々な観点から「神戸」を学びます。2022 年度にお迎えする講師の方は以下の先生方です。 各回お一人の講師をお迎えします。講義の順は変更される可能性があります。詳しいスケジュールは、初回のオリエンテーション時に配付します。第 1 回目にはレポート課題の説明もしますので、必ず出席して下さい。		
	各回内容		
	1	「神戸の風土と文化から」田辺 真人(兵庫県阪神シニアカレッジ学長、園田学園女子大学名誉教授)	
	2	「神戸・パン物語」楠本 利夫 (芦屋大学元教授・国際関係学博士)	
	3	「神戸の映画と観光・集客産業」松下 麻理 (神戸フィルムオフィス代表)	
	4	「神戸の都市山・六甲山」服部 保 (兵庫県立大学名誉教授)	
	5	「神戸・阪神間モダニズムの継承 ファミリア物語」 高木 應光 (NPO 神戸外国人居留地研究会事務局長)	
	6	「世界の目からみる神戸」川越 栄子 (滋慶医療科学大学教授)	
	7	「神戸の歴史的な建築と町並み」山之内 誠 (神戸芸術工科大学環境デザイン学科教授)	
8	「神戸のことばと文学」藤代 節 (神戸市看護大学教授)		

評 価 方 法：提出物 (神戸の 1 箇所を訪れてレポートを提出する、他、30%程度) と平常点 (70%程度) による予定。

参 考 図 書：「神戸地域学—神戸の魅力再発見」川越栄子編 大学教育出版 2013 年
「神戸の 150 年」田辺真人監修 樹林舎 2017 年

履 修 に あ た っ て：「神戸」について様々な角度から勉強してください。自分たちが学んでいる、住んでいる街についての理解を深めてください。きっと忘れられない街になるでしょう。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	丹野 恵一 准教授
開 講 期 間	前期 (4月上旬～7月下旬)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 10:40～12:10 又は 13:10～14:40 (2022年度予定)
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5名

科 目 内 容	生物と化学の体験や知識を基礎とします。そして、1) 生体や細胞の構造・物質的組成を理解すること、2) タンパク質・脂質・糖質等の生体構成成分において、その合成・分解を主とした代謝を理解すること、を本講義の目的と到達目標とします。		
	各回内容		
	1	「生化学」講義の進め方・学び方	
	2	細胞①：生命の最小単位・動物細胞	
	3	細胞②：細胞の増殖と分化	
	4	細胞③：生体膜と細胞内小器官	
	5	生体の構成成分①：水・無機物質他	
	6	実験①：赤血球の溶血現象の観察	
	7	生体の構成成分②：糖質の基礎	
	8	生体の構成成分③：糖質とその代謝	
	9	生体の構成成分④：脂質と基礎	
	10	生体の構成成分⑤：脂質とその代謝	
	11	生体の構成成分⑥：アミノ酸・タンパク質の基礎	
	12	生体の構成成分⑦：アミノ酸・タンパク質とその代謝	
	13	遺伝情報とその発現①：DNAの構造と複製・タンパク質合成	
	14	遺伝情報とその発現②：遺伝子発現～アセトアルデヒド脱水素酵素の遺伝的タイプ～	
15	まとめ		

補講 (受講希望者のみで実施)

「酵素の性質と臨床生化学的診断への利用」

実験②薬物性肝炎モデルマウスの作成」

実験③モデルマウスの下大静脈からの採血とマウス臓器観察

実験④マウス血清逸脱酵素 (AST・GOT/ALT・GPT) の生化学的測定

評 価 方 法：学期末試験 (90%)、実験への取組・レポート・出席点 (10%) を換算し、総合的に評価します。

教 科 書：『ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能② 臨床生化学 (第5版)』宮澤恵二編、メディカ出版 (2018)

参 考 図 書：1) 高等学校理科教科書『生物基礎・生物』『化学基礎・化学』

*高等学校理科教科書は、看護大図書館1階に所蔵有。神戸市看護大学図書館書架分類番号、生物：460、化学：430

2) 『Essential 細胞生物学 第4版』B.Albert 他著、中村佳子・松原謙一監訳 (2016) 南江堂、神戸市看護大学図書館書架分類番号 :463

履 修 に あ た っ て：1) 講義中、配布した生化学講義ノート、参考資料、板書等でわからない専門用語があった場合、講義後に参考書、インターネット等を用いて調べるよう心がけて下さい。

2) 生化学は、生体の活動を分子・物質レベルの働きとして理解する分野です。生化学は、一度基本を理解すれば決して難しい科目ではありません。高等学校で履修した生物・化学の知識が基礎となりますが、生物・化学を履修していない方も理解できる講義・実験等を心がけます。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	丹野 恵一 准教授
開 講 期 間	後期 (10月上旬～1月下旬)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 16:30～18:00 (2022年度予定)
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5名

科 目 内 容	本講義は、日常生活における水道水・食品・居住環境等の環境問題について、実験・演習・見学を通じて考えるプロセスを体得することを目的とします。		
	各回内容		
	1	はじめに ～水俣病の原因究明を題材として環境問題を考える～ (演習)	
	2		
	3	水道水中の残留塩素濃度の分析	
	4	～自宅・看護大学内等にて水道水のサンプリング～ (実験)	
	5	食品添加物の分析 ～市販の加工食品からの発色剤・保存料(亜硝酸ナトリウム)の定性分析～ (実験)	
	6	水道水残留塩素濃度と食品中亚硝酸ナトリウム濃度の Excel を用いたデータ解析	
	7	科目特別講師による臨時講義「健康、未病、病に関わる化学物質について(2021年度)」	
	8	まとめ ～「生活と環境」で学んだことを自分自身でどう考えるか～	
9	補講(見学・希望者のみ): こうべ環境未来館～神戸市資源リサイクルセンター～ * 神戸電鉄「木津駅」下車徒歩5分		

評 価 方 法 : 各回の実験・演習への取り組み及び出席点(70%)と最終提出レポート(30%)換算し、総合的に評価致します。

教 科 書 : 教科書は指定せず、各テーマごとに講義資料を配付します。

参 考 図 書 : 1) 日本化学会編集『暮らしと環境科学』(東京化学同人)(2003)、神戸市看護大学図書館分類番号: 看護大 515
2) 澤村良二他編集『環境衛生学(改訂第2版)』(南江堂)(1992)、神戸市看護大学図書館分類番号: 看護大 WA670

履 修 に あ た っ て : 1) 本講義は、受講生の空き時間と調整させていただいた後、一日に2時限分の実験を行うことがあります。
2) 一つのテーマについて自分の手を動かし自分の目で確かめることは大切なことです。身近な生活の環境問題を理解すること、そして環境問題の解決に向けて自分の考え方を身につけるプロセスを体得します。環境問題に興味がある学生さんの履修を歓迎致します。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	樫田 美雄 教授
開 講 期 間	後期 (10/17 ~ 12/5)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 13:10 ~ 14:40
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	<p>障害 (学) をめぐる諸問題を、「障害学」批判も含めて検討し、「(障害者との) 共生社会」の実相を理解する。後期近代社会において、「障害者」をはじめとした人間資源が、どのような視線のもとで利用されようとしているのかを「大競争社会の到来」という枠組みのもとで理解する。それらの理解をもとに、「同化主義批判」「排除と包摂」「ろう文化宣言」「日本手話と手指日本語」「触常者宣言」「アブノーマライゼーション宣言」「マルクス・レーンム問題」「パラリンピックにおけるアスリートか、障害者か問題」「分配的ジレンマ」「社会モデル」「障害者スポーツ」「吃音」等のキーワードを、自分自身で活用可能な水準にまで、血肉化する (キーワードを自家菜籠のものとしたレポートが書けるようになるということだ)。結果として、社会変動に応じて、自らの対社会的スタンスを変革できる能力を育て、20 年後に幹部看護師等の対人サービス専門職幹部になり得る力を得させる。また、社会科学の授業として、社会科学系のレポート作成能力及び、グループワーク (GW) 遂行能力をも養成する。</p>		
	各回内容		
	1	はじめに・・・ビデオ「IT が開く情報の扉」 & 「ろうを生きる (米内山明宏)」を見て考える	
	2	観察 (1)・・・“障害者”の諸宣言を見てみよう! (GW)	
	3	観察 (2)・・・“障害者”の諸宣言を見てみよう! (承前) (GW)	
	4	理論 (1)・・・「障害学入門」(その1: 基本概念を理解しよう) ★教科書、樫田・小川編『<当事者宣言>の社会学』、 杉野 昭博『障害学 - 理論形成と射程 -』、『医学哲学 医学倫理』22:37-46。 石川 准・長瀬修編『障害学への招待』 & 石川・倉本編『障害学の主張』	
	5	理論 (2)・・・「障害学入門」(その2: 障害学の展開を把握しよう) (GW) ★堀田 義太郎 2004「障害の政治経済学が提起する問題」 ★安積 純子、尾中文哉、立岩 真也、岡原 正幸 『生の技法 - 家と施設を出て暮らす障害者の社会学』(文庫版) 北島 行徳『無敵のハンディキャップ』(文庫版)	
	6	思考 (1)・・・我々はどこまで行けるのか (その1) (GW) ★渡正『障害者スポーツの臨界点 - 車椅子バスケットボールの日常実践から』 阿部他「資源としての障害パースペクティブの可能性」 in 『年報筑波社会学』	
	7	思考 (2)・・・我々はどこまで行けるのか (その2) (GW) ★神原 賢二郎編、2019、『障害社会学という視座』(新曜社) ★樫田 美雄「障害社会学の立場からの障害者スポーツ研究の試み」 ★吉村 さやか「女性に髪の毛がないこと」とは、どのような「障害」なのか ★浦野 茂「発達障害を捉えなおす」 ★渡辺 克典「<気詰まり>を生きる吃音者」 ★高橋 まな穂ほか「2つの連続した呪縛の観点からみた『吃音者宣言』」『現象と秩序』9号 ★テーマを決めて、自分で調べて書く。発表する。 意見をもらう。相互に添削をする。	
8	発表会・・・3冊以上の参考文献を参照したうえで、障害学に関して意見が言えるようになる。		

評 価 方 法 : 平常点 (40%) とレポート (60%)

教 科 書 : 樫田美雄・小川伸彦編 2021『<当事者宣言>の社会学』(東信堂)

参 考 図 書 : 石川 准・長瀬 修編『障害学への招待 - 社会、文化、ディスアビリティ』(明石書店)
石川 准・倉本 智明編『障害学の主張』(明石書店)
杉野 昭博『障害学 - 理論形成と射程 -』(東京大学出版会)
小川 喜道・杉野 昭博編著『よくわかる障害学』(ミネルヴァ書房)
渡 正『障害者スポーツの臨界点 - 車椅子バスケットボールの日常実践から』(新評論)

履 修 に あ た っ て : 毎回の授業に出席すること。とりわけ初回は、授業概要とコメントシートの書き方を指導するので、必ず出席すること。内容はハードですが、得られるものは大きいはず。志の高い学生諸君の積極的な履修を期待しています。

UNITY (大学共同研究施設) のご案内

加盟大学の学生は、和室を除き無料で利用できます。授業等が無く空いている時間帯に貸出していますので、ゼミ、勉強会やサークル活動(概ね5人以上)にぜひご利用ください。ロビーでは、パソコンの利用や自習ができます。

また、土曜日に開催される公開講座につきましても、無料で受講できますので、是非参加してみてください。

開館時間

月～木 9:00～20:00 (単位互換講座特別科目開講期間中)

9:00～17:30 (単位互換講座特別科目開講期間外)

金・土 9:00～17:30

休館日

日曜・祝日、年末年始(12月28日～1月4日)、お盆期間(8/13～15 ※日曜を含む場合は8/16まで)館内整備等のために臨時に休館することがあります。

利用申込方法

来館または電話でお申込みください。(必ず申請書の提出が必要です。)

他の利用者に迷惑を及ぼすものや大学の講義室に適さないものは受付しません。

利用申込みをキャンセルする場合は、必ず事前に連絡してください。

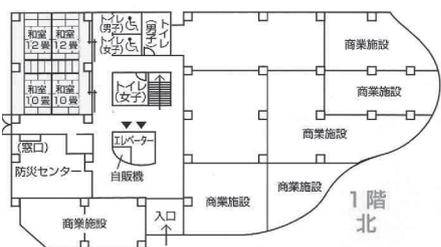
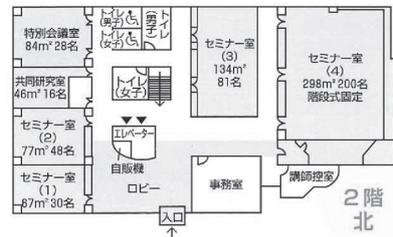
(連絡なきキャンセルの場合、次回からの利用をお断りさせていただく場合があります。)

利用上の注意事項

利用時間は準備及び後片付けの時間を含んでいます。

利用後は必ず原状復帰をし、火元の安全確認をしてください。

専用の駐車場はありません。



神戸研究学園都市大学交流推進協議会 加盟大学



神戸芸術工科大学
〒651-2196 神戸市西区学園西町8-1-1
TEL (078)794-5025
FAX (078)794-5027



神戸市外国語大学
〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1
TEL (078)794-8133
FAX (078)794-8338



流通科学大学
〒651-2188 神戸市西区学園西町3-1
TEL (078)794-3557
FAX (078)794-3510



兵庫県立大学 神戸商科キャンパス
〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1
TEL (078)794-5209
FAX (078)794-6166

(準会員)
兵庫県立大学 明石看護キャンパス
〒673-8588 明石市北王子町13-71
TEL (078)925-9404
FAX (078)925-0858



神戸市立工業高等専門学校
〒651-2194 神戸市西区学園東町8-3
TEL (078)795-3311
FAX (078)795-3314



神戸市看護大学
〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4
TEL (078)794-8080
FAX (078)794-8086



【交通機関】神戸市営地下鉄西神山手線「学園都市駅」下車すぐ



<https://www.unity-kobe.jp>

ユニティ 大学共同利用施設

【神戸研究学園都市大学交流推進協議会】

〒651-2103
神戸市西区学園西町1-1 ユニバープラザ2F

TEL (078)794-4970 FAX (078)794-4910